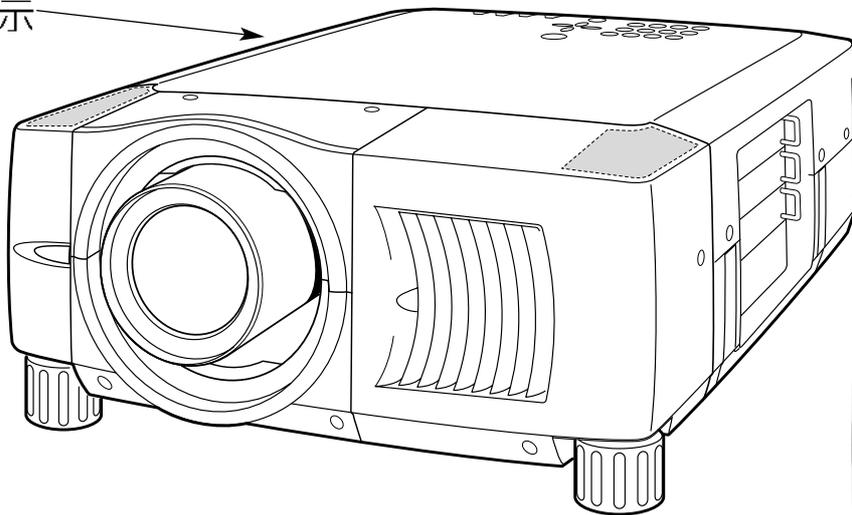


液晶プロジェクター 品番 LP-WF10 取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのう
え、正しくお使い下さい。とくに4～10ペー
ジの「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書といっしょに、
いつでも取り出せるところに必ず保管してくだ
さい。わからないことがあったときなどにお役
に立ちます。
お買い上げ商品の品番は側面の表示でご確認く
ださい。

保証書は必ずお受け取りください

品番表示



※レンズは別売です。

取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（ ）内の記号が色記号です。

本機は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

LP-WF10の特長

1366 x 768ドットの高解像度ワイド液晶パネルの採用により、ワイドXGAコンピュータにリアル対応。SXGA、UXGAにも圧縮対応。

プログレッシブ スキャン

プログレッシブ スキャン の採用により、映像をより高画質に投映します。

マルチ プラットフォーム

豊富な入出力端子およびカードスロット式接続端子の採用により、ハードおよびソフト環境の異なる各種コンピュータおよびビデオ機器に幅広く対応できるマルチプラットフォーム設計になっております。

カード スロット式接続端子

接続端子の入れ替え可能なカードスロット式接続端子により、端子カードの入れ替えで外部機器またはシステム組み込みに合わせてプロジェクターを使用することができます。

電動レンズシフト機能

- ボタン操作でレンズを上下にスライドさせ、画面の位置決めを容易にします。

ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコンを付属

- プロジェクターおよび接続したコンピュータを遠隔操作し、スマートなプレゼンテーションができます。
- プレゼンテーション時に便利なレーザーポインタ機能。

快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能

- コンピュータの種類判別と最適設定を自動で行なうマルチスキャンシステムとオートPCアジャスト機能。
- 見たい部分を瞬時に拡大投映できるデジタルズーム機能。(コンピュータ モード時)
- 投映画面の台形歪みをスクエアな画面に補正するデジタルキーストーン(台形補正)機能。
- 音声を一時的に消す「MUTE」機能・画面を一時的に消す「NO SHOW」機能・画面を一時的に静止させる「FREEZE」機能。
- プレゼンテーション時に便利な「P-TIMER(プレゼンテーションタイマー)」機能。
- ステレオ出力のアンプ・スピーカ内蔵で音響施設のない出先などでもプレゼンテーションが可能。
- DVDプレーヤーやHDTVなどからのコンポーネント映像出力にも対応。

海外の映像システムにも対応する6カラーシステム

- NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM、PAL-M、PAL-Nカラーシステムに対応。

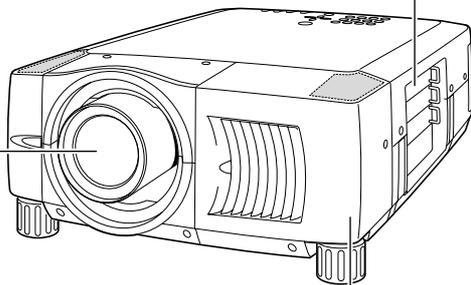
天吊り、据置、リア投映など、さまざまな設置方法に対応

2ランプ システムにより、ランプ寿命の改善

- ランプ不灯時に自動的に切り替わる、フェイルセーフ機能。

満足の明るさと高精細大画面

- 約315万画素の高精細画像でワイドXGAコンピュータ画像をリアル投映
- 250W当輝度 UHPランプを2灯使用し、高輝度化を実現
- 30~400インチの大画面



設置調整を容易にする機構設計

- 画像位置の調整を容易にする上下電動レンズシフト機能を搭載
- 持ち運びに便利なキャリングハンドルと傾き調整を容易にする高さ脚を装備

入れ替え可能なカードスロット式コンピュータ・ビデオ入力端子

- 3種のカードスロット(ミニD-sub15ピン、BNC x 5ピン(R/Pr/G/Y/B/Pb)、BNC x 2ピン(VIDEO/Y.C)、S-VIDEO)を標準装備
- コントロールポート、ワイヤードリモコン端子、シリアル入出力ポート、音声出力端子、USBポートも装備



ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコン

- プロジェクターおよびプロジェクターに接続したコンピュータの遠隔操作が可能
- プレゼンテーション時に便利なレーザーポインタとP-TIMER(プレゼンテーションタイマー)機能付き
- プロジェクターとリモコンを付属のコードでつなげば、ワイヤードリモコンに変身

* 本説明書に記載されているイラストや図形の形状は実際のものとは異なります。

目次

安全上のご注意 4

はじめに 11

付属品を確認してください 11

各部の名称 12

本体各部のなまえ 12

機器をつなぐ端子 13

本体操作パネルのボタン 14

リモコンのボタン 15

リモコンの準備 16

設置 18

設置のしかた 18

接続 20

コンピュータを接続する 20

ビデオ機器を接続する 21

電源コードを接続する 22

基本操作 23

電源を入れる 23

電源を切る 24

投映画面を調整する 25

画面を一時的に静止させる 27

画面を一時的に消す 27

プレゼン時に経過時間を表示する 27

音量や音質を調節する・一時的に消音する 28

レーザーポインタを使用する 29

ランプマネージメントについて 30

メニューの操作 32

オンスクリーンメニューの操作方法 32

コンピュータ入力 34

コンピュータ入力に切り換える 34

コンピュータシステムの選択 34

コンピュータシステムの調整 35

イメージの調整 38

画面サイズを調整する 41

ビデオ入力 42

ビデオ入力に切り換える 42

カラーシステムや走査方式を選択する 42

イメージの調整 43

画面サイズを選択する 45

各種セッティング 46

その他の機能 50

リモコンでコンピュータを操作する 50

カードスロット式接続端子の交換 51

保守とお手入れ 52

光源ランプの交換 52

お手入れについて 54

内部の温度上昇について 56

インジケータ表示とプロジェクターの状態 57

故障かなと思ったら 58

付録 59

コンピュータシステムモード一覧 59

メニュー内容一覧 60

仕様 62

端子の仕様 64

保証とアフターサービス 65

お客さまご相談窓口 66

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

■ 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例



感電注意

△ の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△ の中に具体的な注意内容が描かれています。
（左の絵表示は感電注意を意味します。）



分解禁止

⊘ の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
⊘ の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
（左の絵表示は分解禁止を意味します。）



電源プラグを
コンセントから抜け

● の記号は、しなければならない行為を示しています。
● の中に具体的な指示内容が描かれています。
（左の絵表示は電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。）

警告

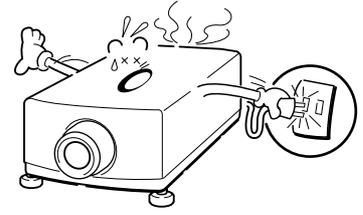
- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



警告



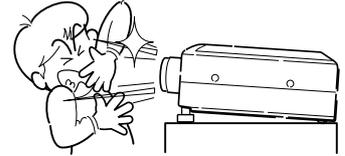
電源プラグを
コンセントから抜け



- 使用中はレンズをのぞかないでください。強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。



警告



- リモコンのレーザポインタの発光部をのぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。

LASER RADIATION
DO NOT STARE INTO BEAM
CLASS 2 LASER PRODUCT
LASER-STRAHLUNG
NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN
LASER KLASSE 2
レーザ放射クラス2 レーザ製品
ビームをのぞき込まないこと
IEC60825-1, Am1, 1997
MAX OUTPUT (最大出力): 1mW
WAVELENGTH (波長): 650±20nm



警告



- 万一本機の内部に水などが入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け



- 万一異物が本機の内部に入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。とくにお子様にはご注意ください。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け

- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて修理を販売店にご依頼ください。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け

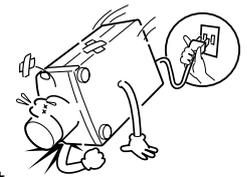
- 万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け



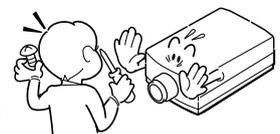
- 本機のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止



感電注意





警告

- 本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止



水ぬれ禁止

- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



風呂、シャワー室での使用禁止

- 本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



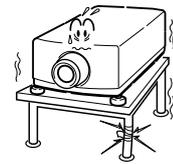
水ぬれ禁止



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



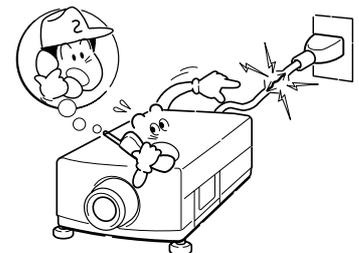
禁止



- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物で覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



禁止

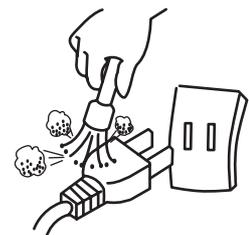


- 電源コードが傷んだら、（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

- コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。

- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。（結露するところや水槽の近くに特にご注意ください）





警告

- ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。



禁止



- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



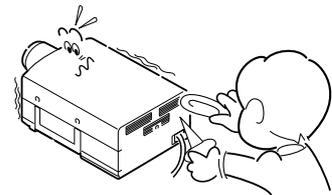
接触禁止



- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。とくにお子様にご注意ください。
- 本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。火災・けがの原因となります。



禁止



- 本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

- 本機は接地端子の付いた3ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を設置してください。(詳しくは、22ページをご覧ください。)



アース線を接続せよ

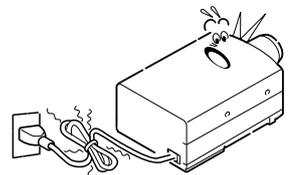


注意

- 電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。



禁止



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止



⚠ 注意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止



- 内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。ご使用の際は、ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止



設置のときは、ファンの排気口を壁から 1メートル以上あけてください。

空調設備の排気ダクト付近などに設置しないでください。

次のような使い方はしないでください。

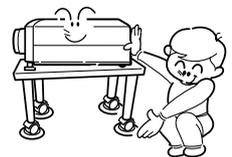
- ・ 横倒しなど、指定以外の方向への設置。
- ・ 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
- ・ じゅうたんや布団の上に置く。
- ・ テーブルクロスなどを掛ける。

また、壁など、周囲のものから 1メートル以上はなし、風通しをよくしてください。

- キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



注意



- 本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



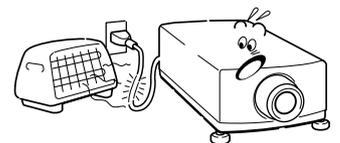
禁止



- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。



禁止



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



禁止



⚠ 注意

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



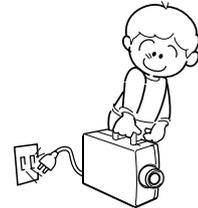
ぬれ手禁止



- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け



- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け



- 長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



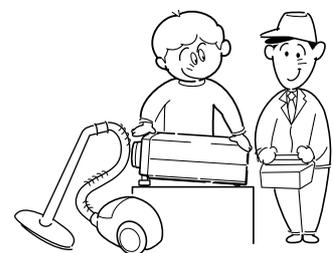
電源プラグを
コンセントから抜け



- 長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。



注意



正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。持ち運ぶとき、レンズの保護のためにレンズカバーをはめ、専用のケースに納めて運んでください。車両・航空機などを利用して持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用の専用ケースをご使用ください。輸送用の専用ケースについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

輸送の時はレンズを取り外してください

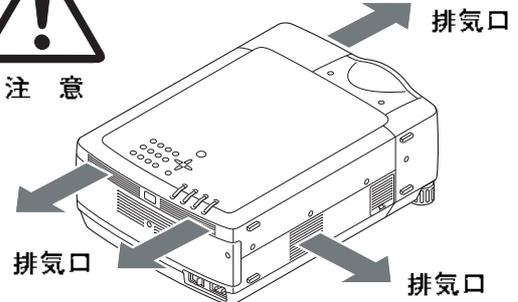
別売レンズを取り付けたプロジェクターを輸送するときは、必ずレンズを取り外し、プロジェクターのレンズ取付け穴部へカバープレートを取り付けて輸送してください。レンズを取り付けたままで輸送すると、レンズ本体の重みでプロジェクターを破損する原因となります。取り付け、取り外しの詳しくは、別冊の「レンズ交換・取付作業手順」をご覧ください。

設置するときは次のことに注意してください

● 排気口の温風にご注意ください ●

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。

- ・ スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- ・ 金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
- ・ 観葉植物やペットを置かないでください。
- ・ 熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
- ・ 排気口付近には視聴席を設けないでください。



熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、動作中排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。手で触れたりしないでください。やけどの原因になります。特に小さいお子さまにはご注意ください。

● こんな場所には設置しないでください ●

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

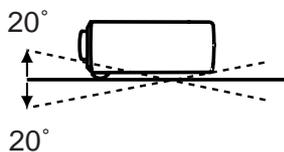
使用温度範囲	5℃～35℃	保管温度範囲	-10℃～60℃
--------	--------	--------	----------

● 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

正しい方向に設置してください

プロジェクターは正しい方向に設置ください。誤った方向に設置すると、故障や事故の原因となります。



前後への傾きは各 20度以内としてください。

傾きは 20度以内に



横置き禁止

横に立てて設置して投影しないでください。



上向き禁止

上向きに設置して投影しないでください。



下向き禁止

下向きに設置して投影しないでください。

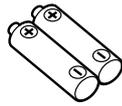
付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているか確かめください。

1 リモコン



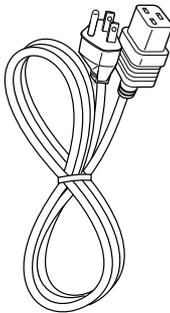
2 リモコン用アルカリ乾電池
(単三型2本)



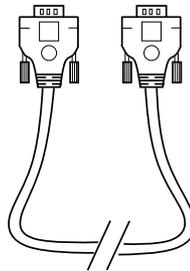
3 リモコン接続コード



4 電源コード



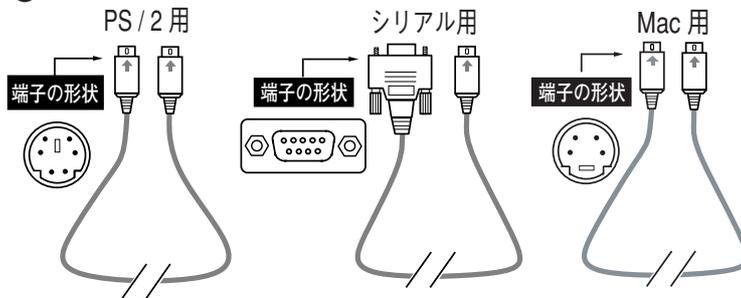
5 コンピュータ接続ケーブル
D-sub 用



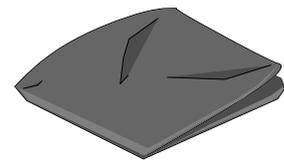
6 Mac 変換アダプタ



7 マウスコントロールケーブル 3本



8 ダストカバー



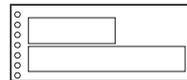
9 取扱説明書 (本書)



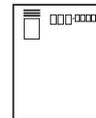
10 レンズ交換・
取付作業手順書



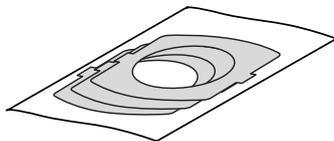
11 保証書



12 ユーザー
登録カード (はがき)



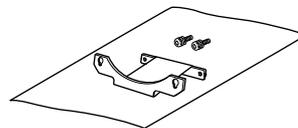
13 遮光プレート (3種)*



14 レンズ取付金具 2個*



15 遮光プレート *
取付ベースキット

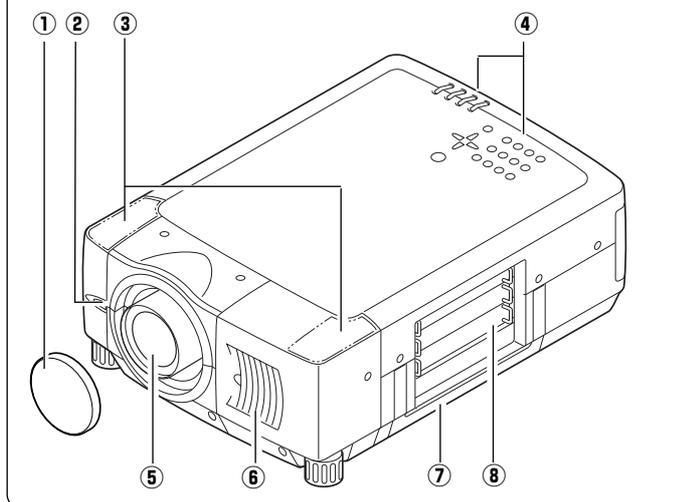


*・・・別売レンズ用

各部の名称

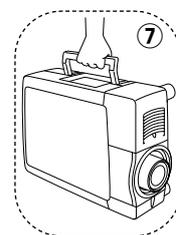
本体各部のなまえ

前面

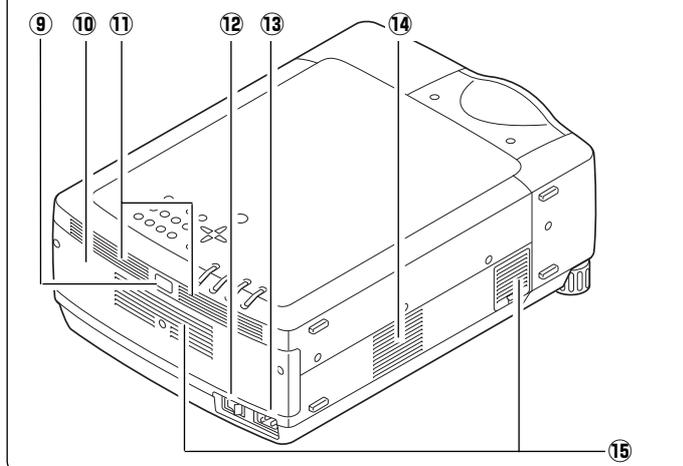


⚠ ご使用中、天蓋は熱くなります。上に物を置いたりしないでください。変形や火災の原因となります。

- ① レンズカバー * 1
- ② リモコン受信部-1
- ③ スピーカ
- ④ 操作パネル・インジケータ
- ⑤ レンズ
- ⑥ 排気口 * 2
- ⑦ キャリングハンドル
- ⑧ 側面端子

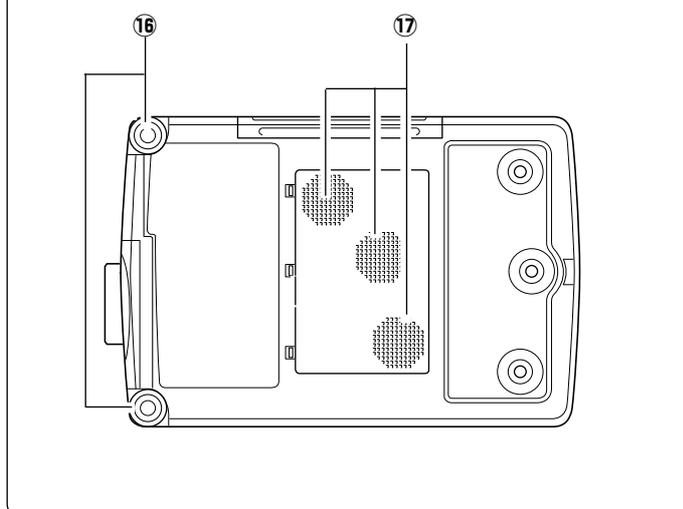


後面



- ⑨ リモコン受信部-2
- ⑩ ランプカバー
- ⑪ 排気口 * 2
- ⑫ 主電源スイッチ
- ⑬ 電源コード接続ソケット
- ⑭ 排気口 * 2
- ⑮ 吸気口 * 3

底面



- ⑯ 調整脚
- ⑰ 吸気口 * 3

* 1



ランプ点灯中はレンズカバーをかならずはずしてください。レンズカバーをつけたまま点灯すると、レンズカバーの変形および火災の原因となります。

* 2



スプレーなど、引火性のもの、燃えやすいもの、熱で変形しやすい物を近くに置かないでください。火災や火事の原因となります。

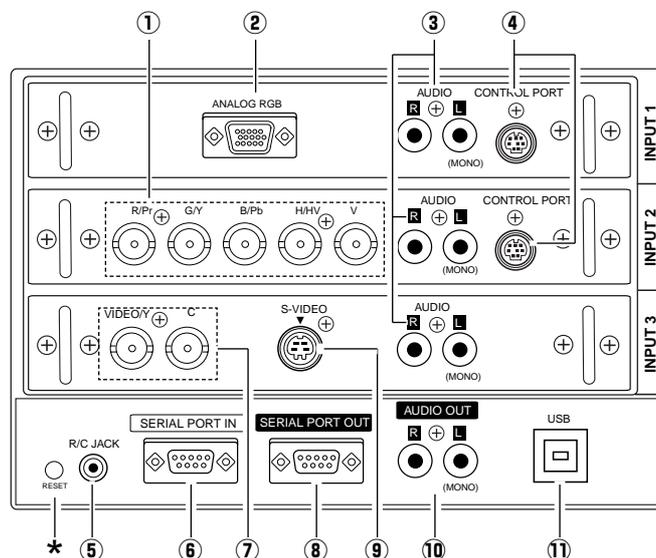
* 3



内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

機器をつなぐ端子

側面端子

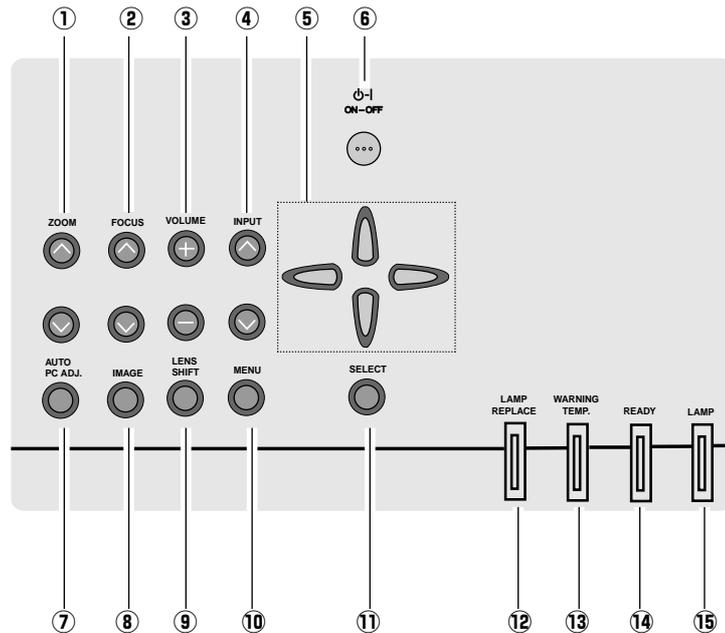


- ① **ビデオ入力端子およびコンピュータ アナログ入力端子** (20、21ページ参照)
DVDプレーヤーやHDTVなどからのコンポーネント映像出力 (Pr, Y, Pb)、または、コンピュータからのアナログ (RGB) 出力と接続します。
- ② **RGB アナログ入力端子** (20ページ参照)
コンピュータからのアナログ出力と接続します。付属のコンピュータ接続ケーブルを使って接続します。
- ③ **音声入力端子** (20、21ページ参照)
接続中の、コンピュータまたはビデオ機器からの音声出力 (ステレオ) をこの端子に接続します。モノラルの音声は「L (MONO)」端子へ接続してください。
- ④ **コントロールポート端子** (50ページ参照)
コンピュータのマウス操作をプロジェクターのリモコンで行なうときに、この端子とコンピュータのマウスポート端子を、付属のマウスコントロールケーブルでつなぎます。
- ⑤ **リモートコントロール端子** (15ページ参照)
この端子とリモコンのワイヤードリモコン端子を付属の接続コードでつなぐと、リモコンがワイヤードリモコンとなり、リモコンの向きに関係なくプロジェクターの操作ができます。
- ⑥ **シリアルポート入力端子** (64ページ参照)
プロジェクターの操作をコンピュータで行なうときにつなぐ端子です。この端子とコンピュータのシリアルポート (またはモデムポートなど) をつなぎます。
- ⑦ **ビデオ入力端子** (21ページ参照)
ビデオ機器からの映像出力と接続します。コンポジット映像出力は VIDEO/Y へ、セパレートY/C出力は VIDEO/Y, C へ接続します。
- ⑧ **シリアルポート出力端子** (64ページ参照)
プロジェクターの SERIAL PORT IN 端子に入力されている信号をそのまま出力する端子です。1台のコンピュータで2台以上のプロジェクターの操作をするとき、この端子と2台目以降のプロジェクターの SERIAL PORT IN 端子をつなぎます。
- ⑨ **S 映像入力端子** (21ページ参照)
ビデオ機器からのS映像出力をこの端子に接続します。
- ⑩ **音声出力端子** (20、21ページ参照)
接続中の、コンピュータまたはビデオ画面の音声を外部のオーディオ機器へ出力する端子です。
- ⑪ **USB 端子** (64ページ参照)
USB規格対応の端子を持つコンピュータ機器との接続に使用します。

* リセットボタン

本機の制御は内蔵のマイクロコンピュータによって行なわれていますが、まれにマイクロコンピュータの誤動作により、本機が正しく動作できないことがあります。そのような場合、リセットボタンを先の短い棒等で押して本機の再起動を行なってください。それ以外の場合は、リセットボタンを押さないでください。

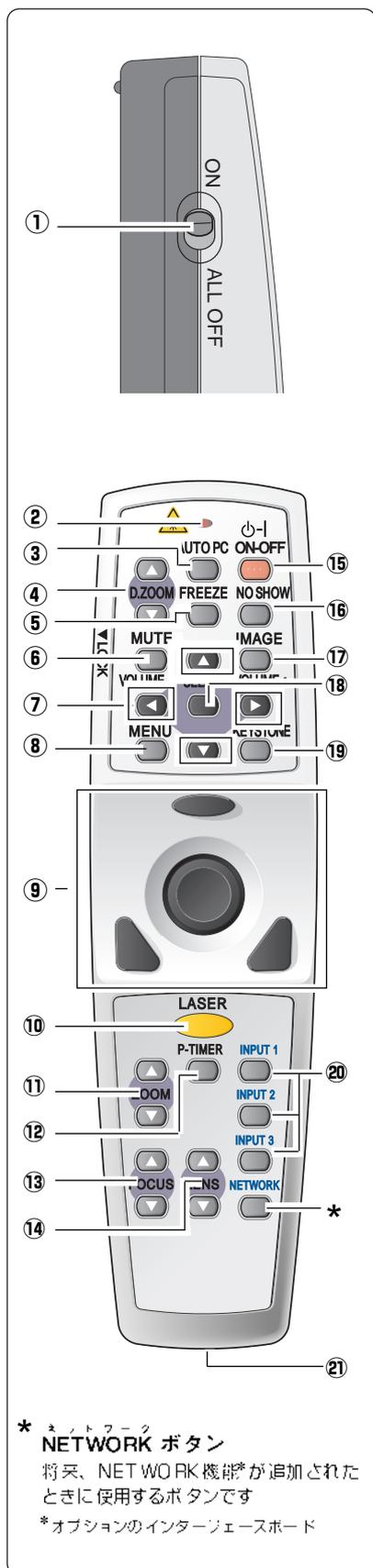
本体操作パネルのボタン



- ① **ZOOM** ボタン (25ページ参照)
ズーム調整モードに入ります。
- ② **FOCUS** ボタン (25ページ参照)
フォーカス調整モードに入ります。
- ③ **VOLUME** ボタン (28ページ参照)
音量を調整します。
- ④ **INPUT** ボタン (34、42ページ参照)
インプット(入力)を切り換えます。
- ⑤ **POINT** ボタン (32ページ参照)
オンスクリーンメニューのポインタの移動に使用します。
- ⑥ **ON-OFF** ボタン (23、24ページ参照)
電源を入り・切ります。
- ⑦ **AUTO PC ADJ.** ボタン (35ページ参照)
トラッキング・総ドット数・画面位置を自動調整します。
- ⑧ **IMAGE** ボタン (38、43ページ参照)
イメージモードを選択します。

- ⑨ **LENS SHIFT** ボタン (25ページ参照)
レンズを上下にスライドさせて画面の位置を上下に移動させます。
- ⑩ **MENU** ボタン (32、33ページ参照)
メニューバーを出します。
- ⑪ **SELECT** ボタン (32ページ参照)
ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。
- ⑫ **LAMP REPLACE** インジケータ (31、52、57ページ参照)
光源ランプの交換時期を知らせます。
黄
- ⑬ **WARNING TEMP.** インジケータ (56、57ページ参照)
点滅して、内部の温度が異常に高くなっていることを知らせます。
赤
- ⑭ **READY** インジケータ (57ページ参照)
電源を入れる準備ができたときに点灯します。
緑
- ⑮ **LAMP** インジケータ (57ページ参照)
主電源が入っているときに点灯します。
赤

リモコンのボタン



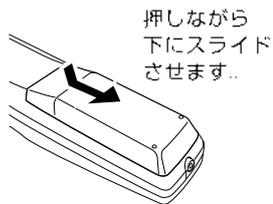
- ① オン・オフ
ALL-OFF スイッチ
リモコンを長時間使用しないときは、「ALL OFF」側にしてください。
- ② レーザーポインタ
レーザーポインタインジケータ (29、50ページ参照)
レーザーポインタ(レーザービーム)が出ているとき、に赤く点灯します。また、ドラグがONのとき、緑に点灯します。
- ③ オートピーシー
AUTO PC ボタン (35ページ参照)
トラッキング・総ドット数・画面位置を自動調整します。
- ④ デジタルズーム
D.ZOOM ボタン (41ページ参照)
デジタルズームの操作をします。
- ⑤ フリーズ
FREEZE ボタン (27ページ参照)
画面を一時的に静止させます。
- ⑥ ミュート
MUTE ボタン (28ページ参照)
音声を一時的に消します。
- ⑦ ポイント・ボリューム
POINT・VOLUME ボタン (28、32ページ参照)
オンスクリーンメニューのポインタの移動やメニューの調整、音量の調整に使用します。
- ⑧ メニュー
MENU ボタン (32、33ページ参照)
メニューバーを出します。
- ⑨ マウス
マウス操作ボタン (50ページ参照)
コンピュータのマウスとして使用します。
- ⑩ レーザー
LASER ボタン (29ページ参照)
レーザーポインタ(レーザービーム)を出します。
- ⑪ ズーム
ZOOM ボタン (25ページ参照)
ズームを調整します。
- ⑫ ピータイマー
P-TIMER ボタン (27ページ参照)
プレゼンテーション(ボタンを押してから)の経過時間を表示させます。
- ⑬ フォーカス
FOCUS ボタン (25ページ参照)
フォーカスを調整します。
- ⑭ レンズシフト
LENS SHIFT ボタン (25ページ参照)
レンズを上下にスライドさせて画面の位置を上下に移動させます。
- ⑮ オン・オフ
ON-OFF ボタン (23、24ページ参照)
電源を入り・切ります。
- ⑯ ノーショー
NO SHOW ボタン (27ページ参照)
画面を一時的に消します。
- ⑰ イメージ
IMAGE ボタン (38、43ページ参照)
イメージモードを選択します。
- ⑱ セレクト
SELECT ボタン (32ページ参照)
ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。
- ⑲ キーストーン
KEYSTONE ボタン (26、46ページ参照)
画面の台形ひずみ(あおり)を補正します。
- ⑳ インプット
INPUT 1~3 ボタン (34、42ページ参照)
入力をインプット1~3に切り換えます。
- ㉑ **ワイヤードリモコン端子**
ワイヤードリモコンとして使用するとき、付属のリモコンコードでこの端子とプロジェクターのリモコン端子(R/C JACK)を接続します。
*リモコンに電池は必要です。

リモコンの準備

リモコンの準備

電池の入れかた

1 電池カバーを開けます。

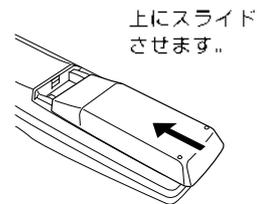


2 電池を入れます。



使用乾電池
単3型アルカリ乾電池2本

3 電池カバーを閉めます。



電池を使用するときのご注意

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんで注意ください。

- ・種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
- ・乾電池は充電しない。分解しない。
- ・+極と-極の向きを正しく入れる。+極と-極をショートさせない。
- ・可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
- ・電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。



注意

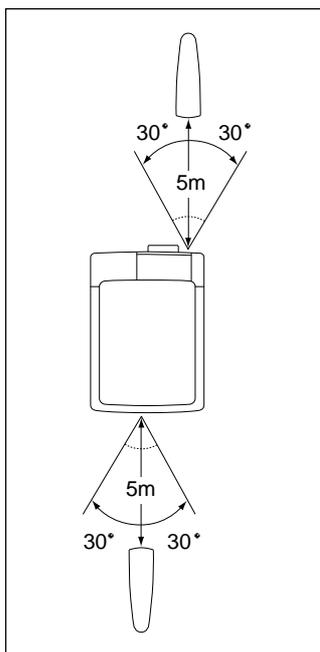


禁止

また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

- ・長い間使わないときは乾電池をとりだす。
- ・液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。

リモコンで操作できる範囲



ワイヤレスリモコンとして使用する場合、リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面と後面のリモコン受信部から約5m以内、左右30度以内です。

※間に障害物があると操作の妨げになります。

リモコンを使用するときのご注意

- ・本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにする。
- ・液状のものをかけない。
- ・落としたり衝撃を与えない。
- ・熱や湿気をさける。



警告

リモコンのレーザーポインタの発光部をのぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。

LASER RADIATION
DO NOT STARE INTO BEAM
CLASS 2 LASER PRODUCT
LASER-STRAHLUNG
NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN
LASER-KLASSE 2
レーザー放射 クラス2 レーザ製品
ビームをのぞき込まないこと
IEC60825-1, Am.1 1997
MAX OUTPUT (最大出力) : 1mW
WAVE LENGTH (波長) : 650±20nm

ディップスイッチの設定

リモコンの電池カバー内に、ディップスイッチがあります。ご使用状況に合わせ、ディップスイッチを設定してください。

スイッチ1、2、3

スイッチの切り換えにより、8モードのリモコンコードに切り換えられます。機器間で類似コードによる誤動作が生じる場合、コードを切り換えてご使用ください。リモコンコードを切り換えると、プロジェクター本体のコード変更も必要です。

※ リモコンコードについての詳しくは、48ページをご覧ください。

スイッチ4

レーザーポインタ機能のON/OFFの設定。
OFF側にすると機能が停止します。

	スイッチ			コードNo.
	1	2	3	
<input type="checkbox"/> 4	ON	ON	ON	コード 1
<input type="checkbox"/> 3	ON	ON	OFF	コード 2
<input type="checkbox"/> 2	ON	OFF	ON	コード 3
<input type="checkbox"/> 1	ON	OFF	OFF	コード 4
	OFF	ON	ON	コード 5
	OFF	ON	OFF	コード 6
	OFF	OFF	ON	コード 7
	OFF	OFF	OFF	コード 8

設置のしかた

レンズを取り付ける

プロジェクターを据え付ける前に、プロジェクター本体にレンズを取り付けます。はじめにプロジェクターを使用する環境に合ったレンズを決めます。本機に適合するレンズ品番およびレンズの仕様は、別冊の説明書をごらんください。（別冊に記載されている各レンズの仕様は、目安とするもので実際のものとは異なる場合があります。レンズの仕様について、詳しくは取扱販売店にご相談ください。）各レンズの取り付けは、別冊の「レンズ交換・取付作業手順書」に従って行なってください。レンズの品番によって取り付け手順、取り付け部品が異なります。必ず手順書に従い、レンズの品番に合った取付けを行なってください。

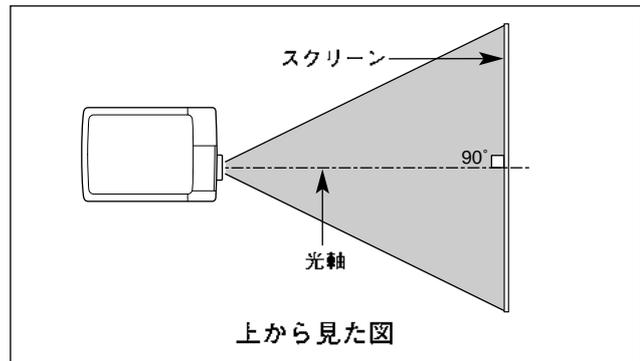


注 意

レンズ取り付け後、プロジェクターを設置するとき、レンズには必ずレンズ保護カバーをしてください。また、プロジェクター本体を運んだり持ち上げたりするとき、レンズ部は絶対持たないでください。プロジェクターを破損する原因になります。

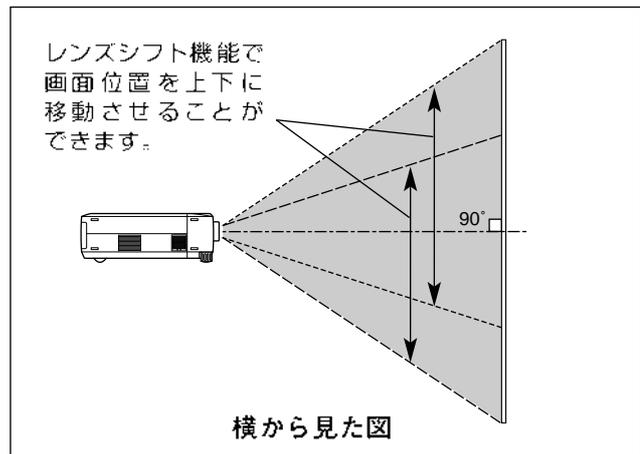
スクリーンに対して直角に設置する

投影したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。



レンズシフト機能で画面の上下位置を合わせる

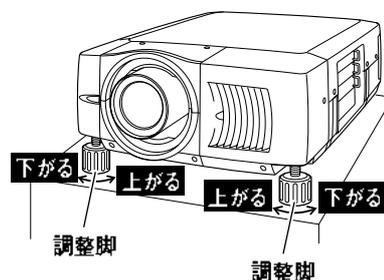
本機にはレンズシフト機能が付いており、ボタン操作でレンズを上下にスライドさせ、画面位置を上下に移動させることができます。操作のしかたについては、25ページををごらんください。



投映画面の傾きを調整する

本体前方の2つの調整脚をまわして投映画面の傾きを微調整します。
最大約6.9度まで上がります。

※ 画面の上の位置は、主にレンズシフト機能で調整します。(25ページ参照)



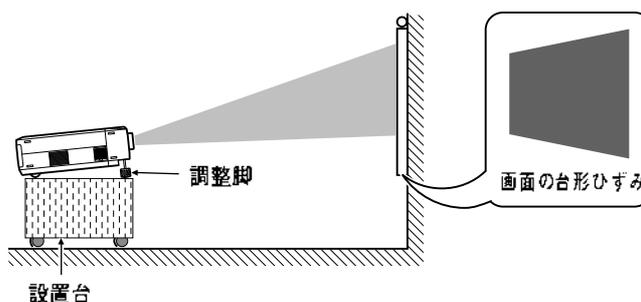
前後方向の傾きは ±20度以内に

前後の傾きが±20度以内になるように投映してください。傾きが大きいと、光源ランプの故障の原因となります。



画面の台形ひずみ（あおり）

調整脚を上げすぎると、投映角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、本体の設置台の高さなどを調整してください。



※ 画面のひずみが大きいときは、設置台を高くして調整してください

メモ

お使いになる部屋の明るさについて

スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落としてください。

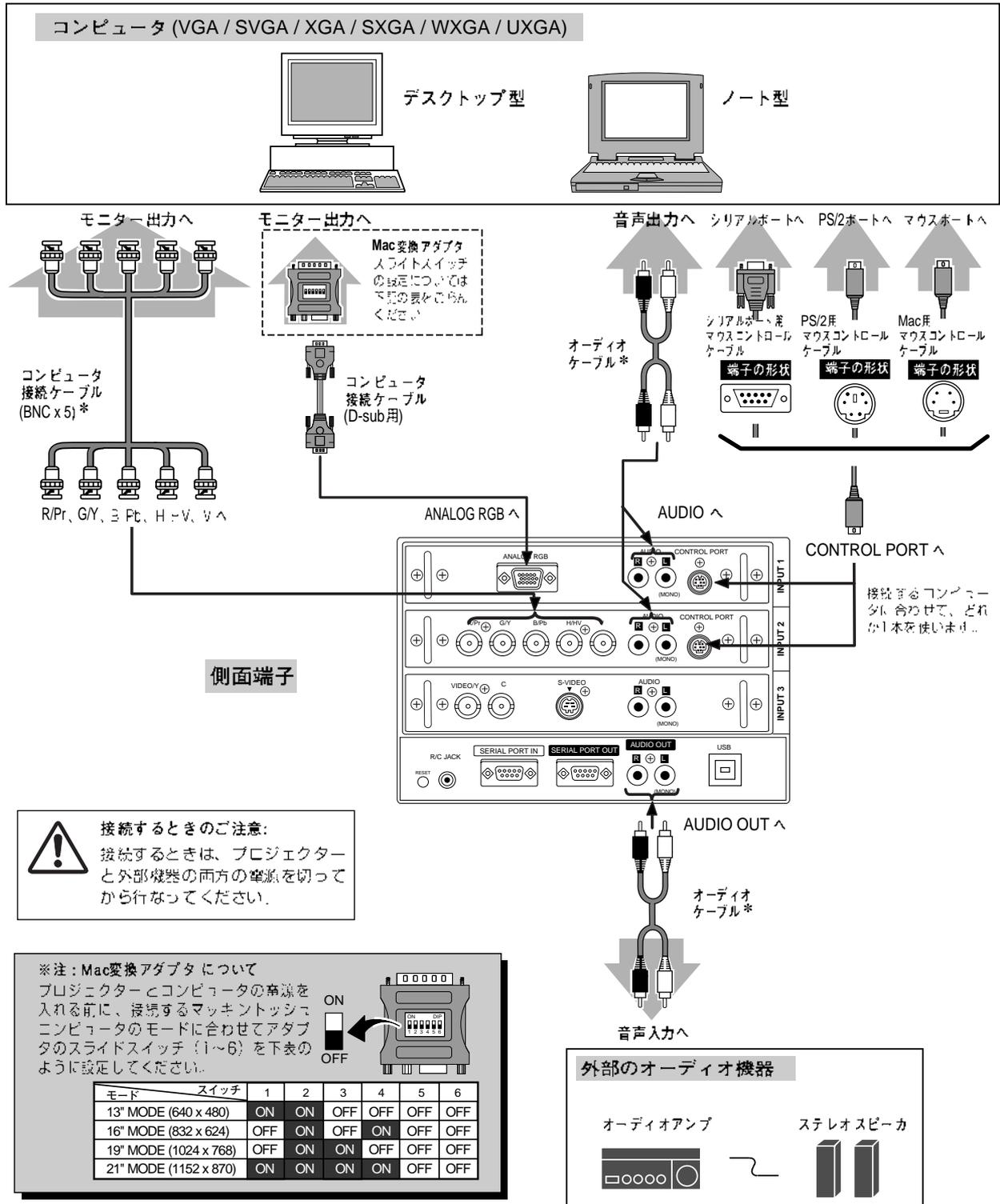
ご注意・著作権について

この液晶プロジェクターを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切換え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行ないますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

コンピュータを接続する (例)

接続に使用するケーブル (* = 市販または別売のケーブルをお使いください。)

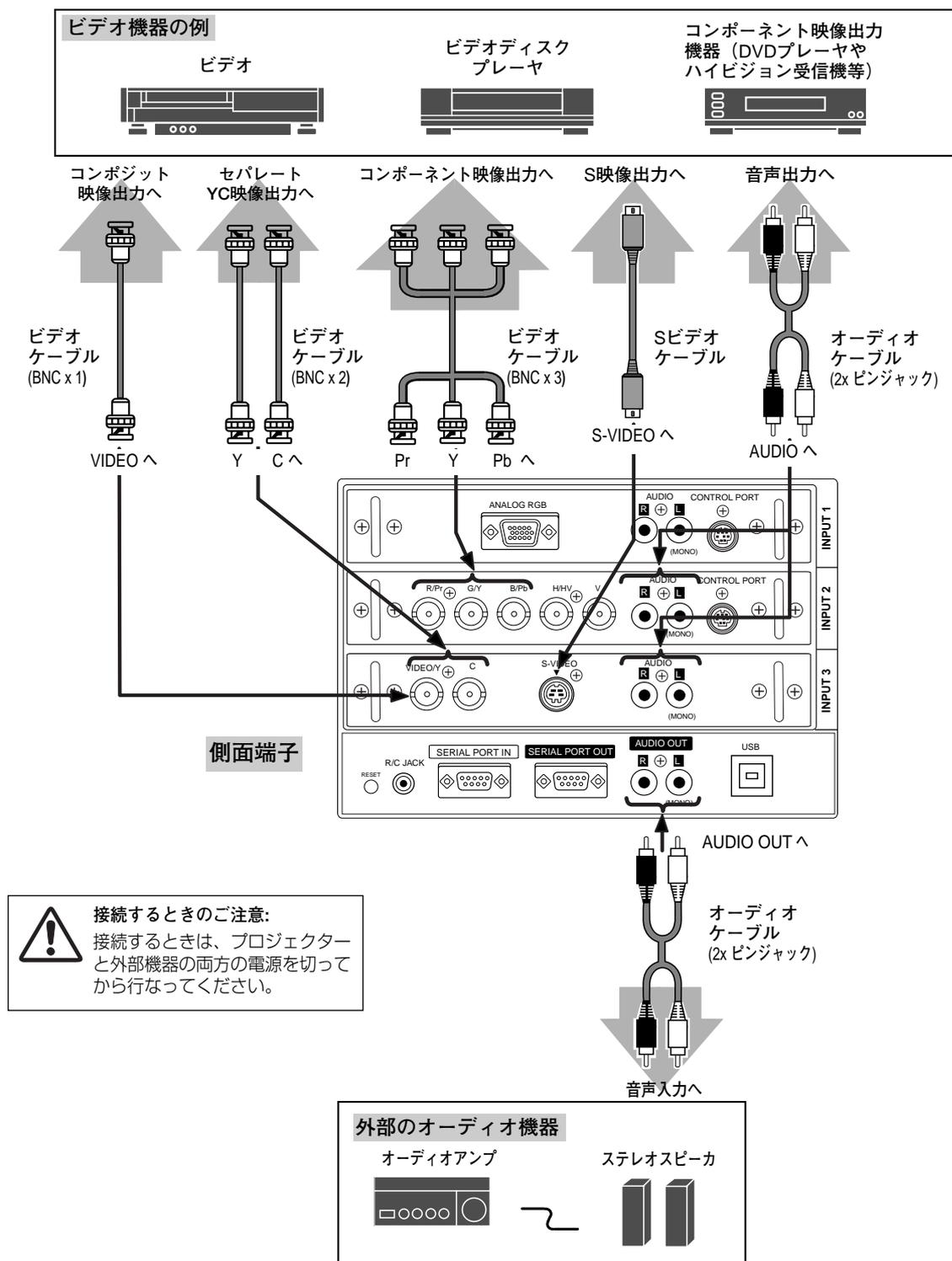
- コンピュータ接続ケーブル (D-sub用、BNCx5*)
- マウスコントロールケーブル (PS/2用、シリアルポート用、Mac用)
- Macアダプタ (マッキントッシュコンピュータ接続時)
- オーディオケーブル (2x ピンジャック*)



ビデオ機器を接続する (例)

接続には市販のケーブルをお使いください。

※ 本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属されていません。別売または、市販のケーブルをお使いください。

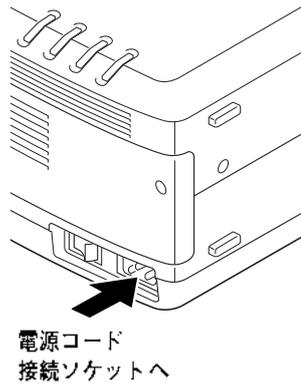


接続するときの注意:
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

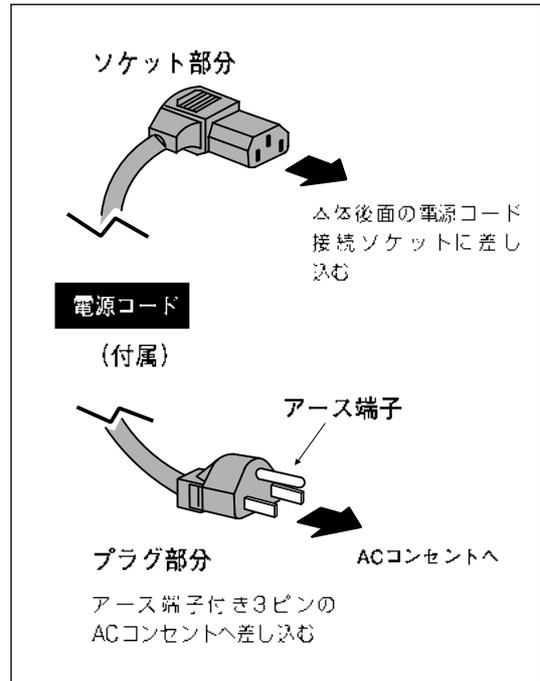
電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に13、20、21ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

- 1 電源コードのソケット部分を本体後面の電源コード接続ソケットに差し込みます。



- 2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き3ピンのACコンセントに差し込みます。



⚡ アース端子を接地してください ⚡

機器を安全にご使用いただくために、電源プラグのアース端子の接地を行なってください。また、アース端子の接地はコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因となることがあります。

⚡ ご使用にならないときは電源コードを抜いてください ⚡

本機は、操作パネルやリモコンのON-OFFボタンで電源を切っても、約12Wの電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源コードのプラグをACコンセントから抜いてください。



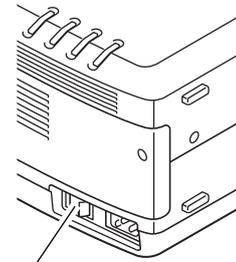
注 意

電源を入れる

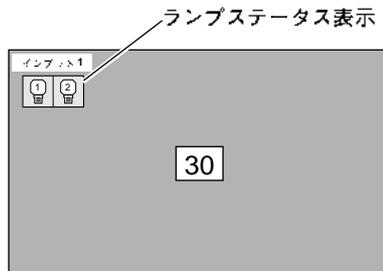
- 1 後面の主電源スイッチ (MAINS SW) を「ON (入)」します。
赤色のLAMPインジケータと緑色のREADYインジケータが点灯します。
- 2 リモコンまたは操作パネルのON-OFFボタンを押して電源を入れます。
LAMPインジケータが少し暗めの点灯にかかります。
約30秒間のオープニング画面 (カウントダウン表示) が終わると、画像が映せます。

※オープニング画面が終わると画面の左上に2個のランプ表示 (ランプの点灯状況を示すランプステータス表示) が約5秒間出ます。ランプステータス表示について、詳しくは30ページをごらんください。

※設定メニューで「オンスクリーン表示 オフ」に設定しているときは、オープニング画面およびランプステータス表示は出ません。



主電源スイッチ
(MAINS SW)

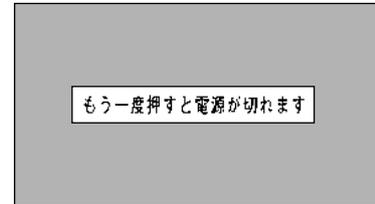


☞ 電源を切った後、約90秒間は電源が入りません ☞

電源を切った後、約90秒間は、次の点灯に備え、高温になった光源ランプを冷却しています。この間はON-OFFボタンを押しても電源は入りません。90秒経ち、緑色のREADYインジケータが点灯すれば電源を入れることができます。

電源を切る

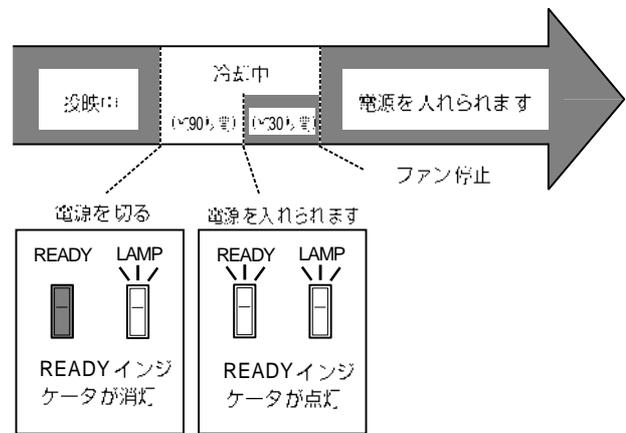
- 1) リモコンまたは操作パネルのON-OFFボタンを押すと、画面に「もう一度押すと電源が切れます」の表示が出ます。
- 2) 表示が出ている間に再度ON-OFFボタンを押すと画面と音が消え、電源が切れます。
電源が切れると緑色のREADYインジケータが消え、赤色のLAMPインジケータが明るく点灯します。



※表示は約4秒間出ます。

電源を切った後、約90秒間は電源が入りません

電源を切った後、約90秒間、高温になった光源ランプを冷却しています。この間はON-OFFボタンを押しても電源は入りません。この間は電源コードを抜かないでください。約90秒経ち、READYインジケータが点灯すれば電源を入れることができます。



光源ランプを長持ちさせるために

光源のランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約5分以上点灯させてから電源を切ってください。電源プラグを抜くときは、ON-OFFボタンで電源を切り、約90秒経過後、READYインジケータが点灯してから行なってください。電源が入った状態からいきなり電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。

冷却ファンについて

電源が入っている間、温度によりファンの回転速度が自動的に切り換わりますが、故障ではありません。

プロジェクターを24時間以上連続して使用しないでください。連続して使用する場合24時間に一度電源を切り、1時間休ませてください。続けて使用すると、ランプの寿命を縮める原因となります。

パワーマネジメント機能とそのはたらき

本機にはパワーマネジメント機能が搭載されています。30秒以上信号が入力されず、またプロジェクターも操作されなかった場合、画面に「入力信号なし」とタイマー表示が現れ、カウントダウンを始めます。信号が入力されず、また操作されず、設定された時間*のカウントダウンが完了すると、ランプが消灯し、電力の節約とランプ寿命を助ける働きをします。

工場出荷時は「待機・5分*」に設定されています。(47ページ参照)

パワーマネジメントの動作について

設定が「待機」のとき

- 1) タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプ冷却動作にはいります。ランプ冷却中はLAMPインジケータが暗く点灯し、プロジェクターの操作はできません。
- 2) ランプの冷却が完了するとREADYインジケータが点滅を始め、パワーマネジメントモードになっていることを知らせます。この状態のときに、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投映されます。

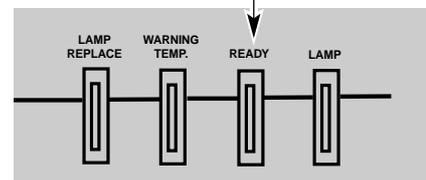
設定が「シャットダウン」のとき

- 1) タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプ冷却動作にはいります。ランプ冷却中は、プロジェクターの操作はできません。
- 2) ランプの冷却が完了すると、電源が切れます。



↑
ランプ消灯までの時間

パワーマネジメントモードになると、READYインジケータが点滅を始めます

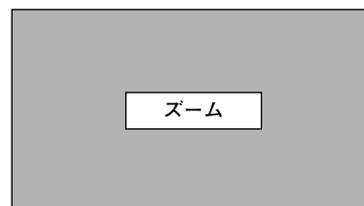


投映画面を調整する

画面の大きさを決める

リモコンまたは操作パネルで操作するとき

ZOOMボタン 上・・・画面が大きくなります。
ZOOMボタン 下・・・画面が小さくなります。

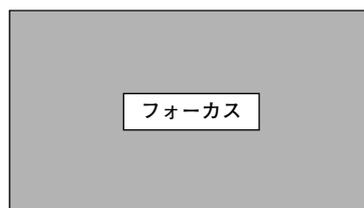


※表示は約4秒間出ます。

フォーカスを合わせる

リモコンまたは操作パネルで操作するとき

FOCUSボタンの上下で、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。

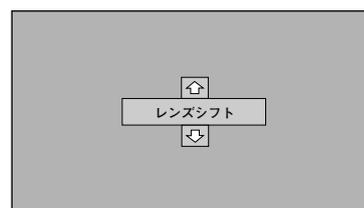


※表示は約4秒間出ます。

レンズシフト機能で画面の位置を上下に動かす

リモコンまたは操作パネルで操作するとき

- 1 LENS SHIFTボタンを押してレンズシフト調整モードに入ります。
画面に「レンズシフト」表示が現れます。
- 2 表示が出ている間にポイントボタンの上下で、画面の位置を上下に動かします。
移動中に上下の矢印が赤色に変わる位置があります。その位置がレンズの上下の標準位置です。



※表示は約4秒間出ます。

※レンズシフト機能で調整した内容は、主電源を切っても記憶されています。

※画面位置は、標準位置から上下へそれぞれ画面の高さの約半分まで動かすことができます。詳しくは、別冊の「レンズ交換・取付作業手順書」に従って行ってください。

※画面位置を動かしたときは、多少画面が暗くなる場合があります。

キーストーン調整で画面の台形ひずみを補正する

リモコンで操作するとき

リモコンのKEYSTONE ボタンを押してキーストーン調整モードに入ります。

ポイント ボタン 左・・・画面左部の幅が縮みます。

ポイント ボタン 右・・・画面右部の幅が縮みます。

※ 操作パネルにKEYSTONE ボタンはありません。

操作パネルで操作するとき

1 操作パネルのMENUボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをセッティングメニューのアイコンに合わせます。

2 ポイントボタン下でポインタをメニュー内におろしてキーストーンのアイコンにポインタを合わせ、SELECTボタンで選択すると、キーストーン調整モードに入ります。

(46ページ参照)

画面に「キーストーン」表示が現われます。

3 表示が出ている間にポイントボタンの左右で、画面の台形ひずみを補正します。

ポイント ボタン 左・・・画面左部の幅が縮みます。

ポイント ボタン 右・・・画面右部の幅が縮みます。

※キーストーン調整で補正した内容は、主電源スイッチを切っても記憶されています。

※キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

※画面の表示モードで「ピットリワイド」を選択しているときは、キーストーン調整はできません。

キーストーン

0



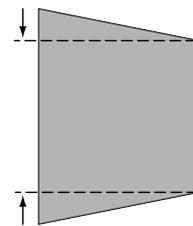
※「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

※キーストーン調整で補正していないときの調整値は「0」です。

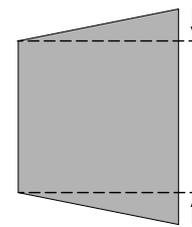
※表示は約4秒間出ます。

※表示の出ている間にリモコンのKEYSTONE ボタンを押すと調整値は「0」に戻ります。

ポイントボタン左



ポイントボタン右



画面を一時的に静止させる (FREEZE)

リモコンのFREEZEボタンを押すと、再生機器に関係なく投映画面だけが静止します。もう一度FREEZEボタンを押すと、解除されます。

※ FREEZEボタンは操作パネルにはありません。

👉 こんなときに便利です 👉

プレゼンターがコンピュータで次の資料の準備をする間、視聴者には FREEZEボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行なえます。

画面を一時的に消す (NO SHOW)

リモコンのNO SHOWボタンを押すと、「ブランク」表示が出て再生機器に関係なく投映画面を一時的に消すことができます。もう一度NO SHOWボタンを押すと、解除されます。

※ NO SHOWボタンは操作パネルにはありません。



※表示は約4秒間出ます。

👉 こんなときに便利です 👉

プレゼンテーション中にプレゼンターの話に集中してほしいときや、視聴者に見せたくない画面があるときなどに便利です。

プレゼン時に経過時間を表示する (P-TIMER)

リモコンのP-TIMERボタンを押すとボタンを押したときからの経過時間をカウントし、画面に表示します。もう一度P-TIMERボタンを押すと経過時間のカウントを止め、それまでの経過時間を画面に表示します。さらにP-TIMERボタンを押すと解除されます。

※ P-TIMERボタンは操作パネルにはありません。



※00分00秒から最長59分59秒まで経過時間を画面表示できます。

👉 こんなときに便利です 👉

プレゼンテーションの持ち時間が決められているときなど、プレゼンターは経過時間を考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行なうことができます。

音量や音質を調節する・一時的に消音する (MUTE)

ダイレクトボタンで音を調節する

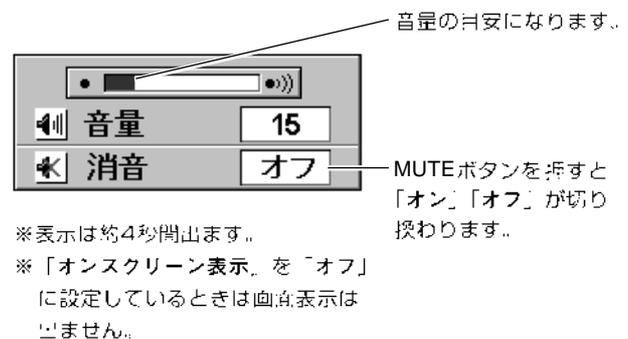
音量調節

リモコンまたは操作パネルのVOLUME ボタン (+/-) で音量を調節します。音量バーを目安にして調節してください。

消音

リモコンのMUTE ボタンを押すと、一時的に音が消えます。もう一度MUTE ボタンを押すか、VOLUME ボタン (+/-) を押すと解除されます。

※ MUTE ボタンは操作パネルにはありません。



サウンドメニューで調節する

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをサウンドメニューのアイコンに合わせて。
- 2 ポイントボタン下でポインタをメニュー内におろしてお好みの項目にポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択します。選んだ項目の調整画面が現われます。

音量・高音・低音

調整や切替はポイントボタンの左右で行ないます。調節のバーを目安に調節してください。

スピーカー

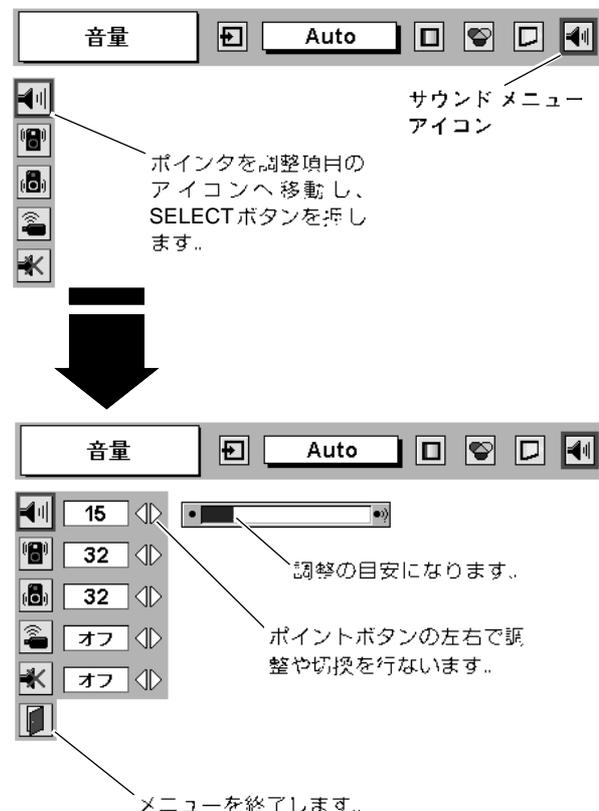
ポイントボタン右または左で「オフ」に切り換えると、一時的に音を消すことができます。「オン」にすると再び音が出ます。

※ 本機の音声を外部機器へ出力して、外部スピーカーで再生するときには、「オフ」にします。

消音

ポイントボタン右または左で「オン」に切り換えると、一時的に音を消すことができます。「オフ」にすると再び音が出ます。

サウンドメニュー



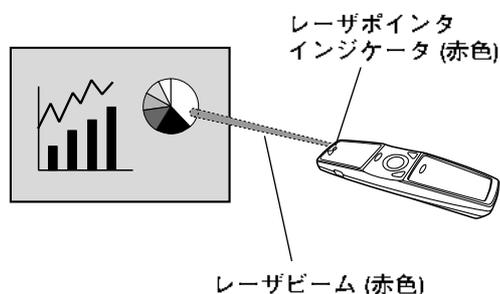
レーザーポインタを使用する (LASER)

リモコンのLASER ボタンを押している間レーザーポインタインジケータ（赤色）が点灯し、リモコンのレーザーポインタ発光部からレーザービームが出ます。（15ページ参照）
ボタンを押すのを止めると、レーザービームの発光は止まります。

※LASERボタンは操作パネルにはありません。

※LASER ボタンを押し続けても、1分経つと安全のため自動的にレーザービームの発光が止まります。

LASER ボタンを押すのを止め、再びLASER ボタンを押すと、レーザービームが再び出ます。



🍃 こんなときに便利です 🍃

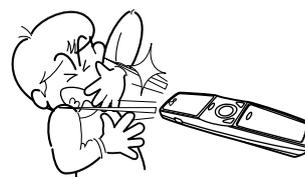
プレゼンテーション中に画面を見ながら、画面の中で注目してほしい部分を直接簡単に示すことができます。



警告

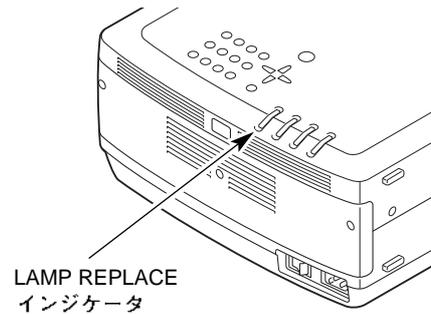
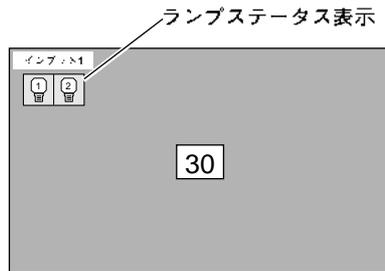
リモコンのレーザーポインタの発光部のぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。

LASER RADIATION
DO NOT STARE INTO BEAM
CLASS 2 LASER PRODUCT
LASER-STRAHLUNG
NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN
LASER KLASSE 2
レーザー放射 クラス 2 レーザ製品
ビームをのぞき込まないこと
IEC60825-1, Am.1 1997
MAX OUTPUT (最大出力) : 1mW
WAVE LENGTH (波長) : 650±20nm



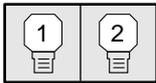
ランプマネージメントについて

本機は2個のランプを搭載しています。ランプマネージメントはこれらのランプの点灯状況を監視し、ランプを最良の点灯状態になるよう自動的にコントロールし、ランプの点灯状態を画面のランプステータス表示と、プロジェクター本体のLAMP REPLACEインジケータで表示します。



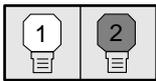
ランプステータス表示

電源を入れた後のオープニング画面（カウントダウン表示）が終わった後や、インプット（入力）を切り換えたときに、画面左上に2個のランプ表示が約5秒間出ます。このランプ表示は、ランプの点灯状況を示しています。表示の番号は内部に装着されている各ランプの番号を示しています。各ランプの状況で以下のように表示されます。



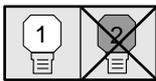
ランプが全て黄色で表示されている

2個のランプが正常に点灯している。



ランプが暗く表示されている

暗く表示されている番号のランプが点灯していません。ランプモードが1灯点灯のとき点灯していないランプが暗く表示されます。（47ページ参照）
（ランプの寿命切れ、故障ではありません。）



ランプにXマークが付き暗く表示されている

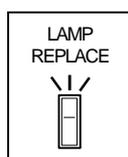
Xマークのランプが寿命で点灯していません。交換が必要です。
（交換のしかたは 52 ページ参照）
※LAMP REPLACE インジケータが点滅します..（次ページ参照）



ランプの何れかが赤く表示されている

赤く表示されているランプが寿命です。すみやかにランプを新しいものと交換してください。
（交換のしかたは52ページ参照）
※LAMP REPLACE インジケータが点灯します..（次ページ参照）

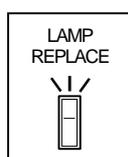
LAMP REPLACE インジケータ



2個のランプのどちらかがランプ寿命に近づくと、LAMP REPLACE インジケータが点灯します

LAMP REPLACE インジケータが点灯している

このインジケータが点灯すると、2個のランプのどちらかにランプ寿命が近づいているものがあります。該当するランプは、画面のステータス表示でご確認ください。



2個のランプのどちらかが故障または寿命により不点灯になると、LAMP REPLACE インジケータが点滅します

LAMP REPLACE インジケータが点滅している

このインジケータが点滅しているときは、2個のランプのどちらかが故障または寿命により点灯していません。ステータス表示で該当ランプをご確認のうえ、ランプ交換を行なってください。
(52ページ参照)

自動ランプ点灯モード切り換え

プロジェクターが最適な点灯状態となるようにランプマネジメントはランプの点灯モードをランプの状態により自動的に切り換えます。



2個のランプのどちらかが寿命または故障で不点灯になると、自動的に点灯モードが1灯点灯になります

1灯点灯モード

2個のランプのどちらかが寿命または故障で不点灯になると、不点灯（ステータス表示でXマーク付き）でないランプによる1灯点灯に切り換わります。

※ 2個のランプが正常に点灯している場合でも、ランプ点灯モードを2灯点灯または1灯点灯へ手動で切り換えることができます。(47ページ参照)

※ 2個のランプが正常で1灯点灯させた場合、2個のランプで積算点灯時間が短い方のランプを自動検出し、そのランプを優先して点灯させます。

メニューの操作

オンスクリーンメニューの操作方法

メニュー操作の基本を覚えてください

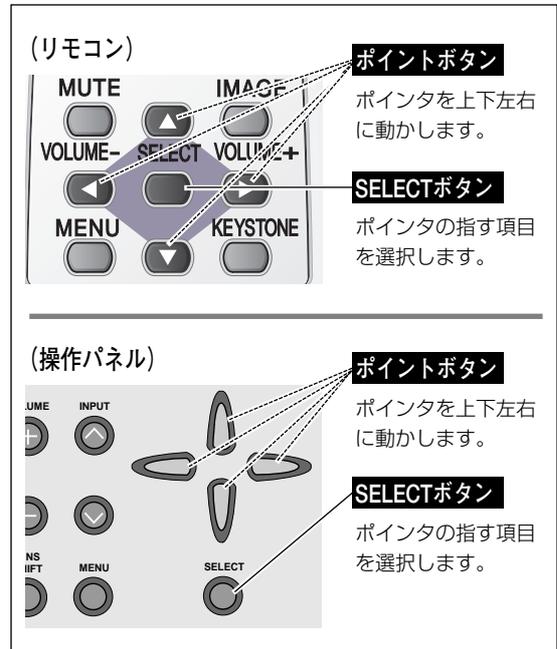
オンスクリーンメニュー(画面上のメニュー)の操作は、①ポインタを移動し、②ポインタの指す項目を選択するのが基本です。

①ポインタの動かし方

ポインタは、ポイントボタンで上下左右に動かします。ポイントボタンはリモコンと操作パネルにあります。

②項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコンを選択するには、SELECTボタンを押します。SELECTボタンはリモコンと操作パネルにあります。



操作の手順

画面にメニューバーを表示させる

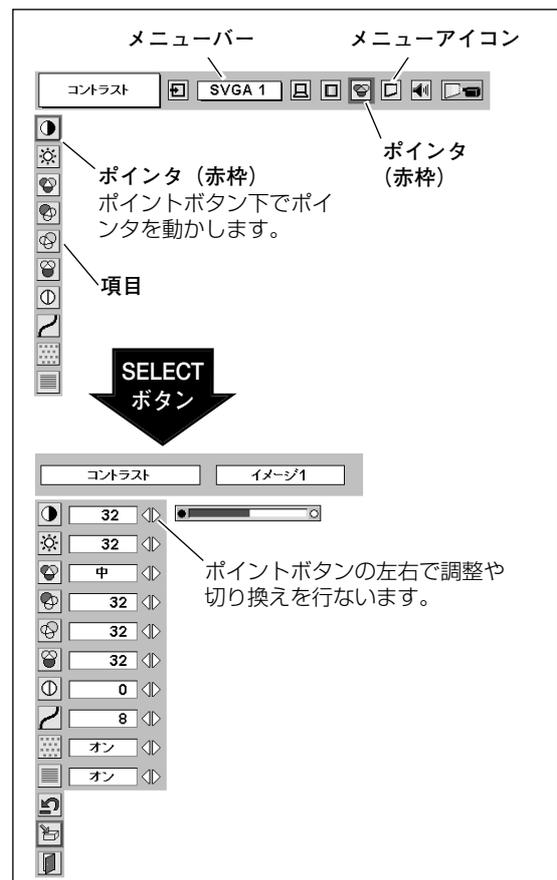
1 MENUボタンを押すと、画面上にメニューバーが表示されます。(次ページ参照)メニューバーには選択できるメニューがアイコン(操作をイメージした図)の形で一覧表示されます。アイコンを囲んでいる赤い枠がポインタです。

メニューを選択する

2 赤い枠のポインタを、ポイントボタンの左右で選択したいメニューのアイコンに移動させます。

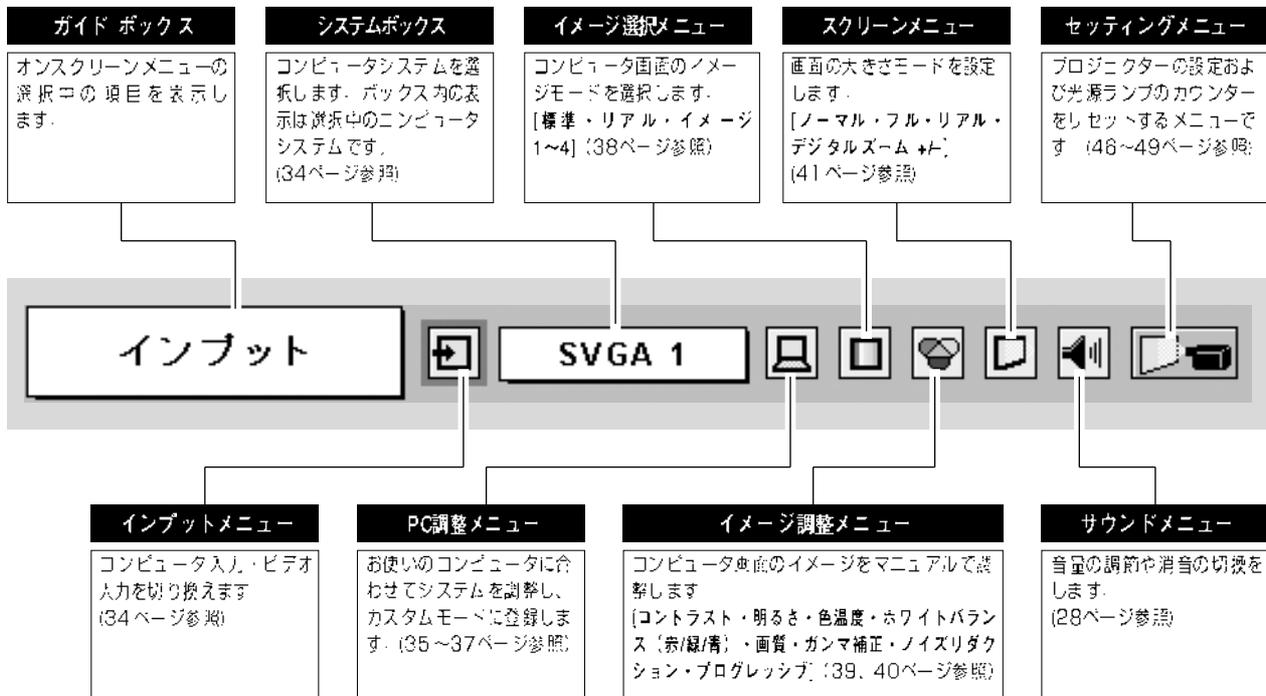
メニュー画面で調整や切り換えを行なう

- 3 ポイントボタン下でポインタをメニュー内におろし、調整する項目にポインタを合わせます。
- 4 SELECTボタンを押して、調整する項目の設定状態をメニュー画面に出します。
- 5 ポイントボタンの左右で、調整や切り換えを行ないます。それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明項を参照してください。

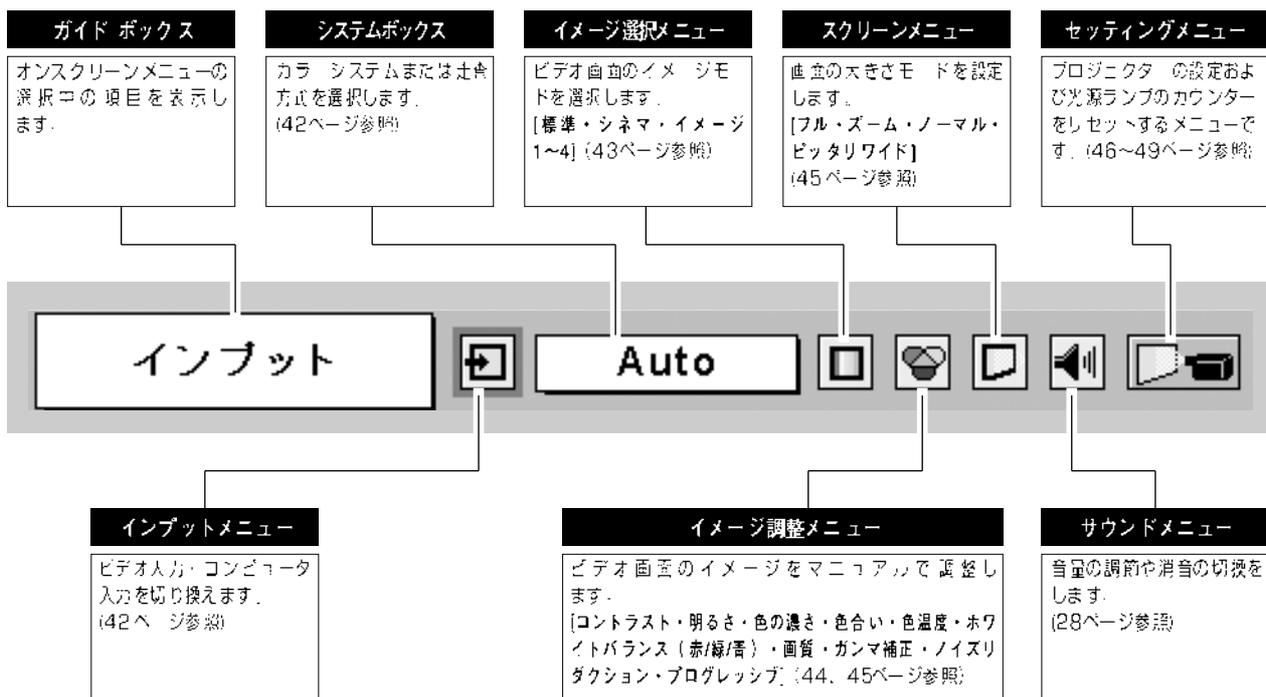


メニューバー

コンピュータ画面のメニューバー



ビデオ画面のメニューバー



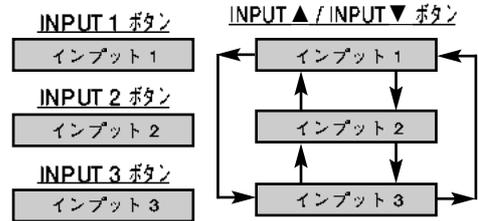
コンピュータ入力

コンピュータ入力に切り換える

INPUTボタンで入力を切り換える

リモコンのINPUT 1ボタン、INPUT 2 ボタンまたは操作パネルのINPUT ▲ または INPUT ▼ ボタンを押して、「インプット 1」または「インプット 2」を選択します。

※ 選択したインプットの画面表示は、そのときのランプステータス表示（30ページ参照）と共に約4秒間出ます。

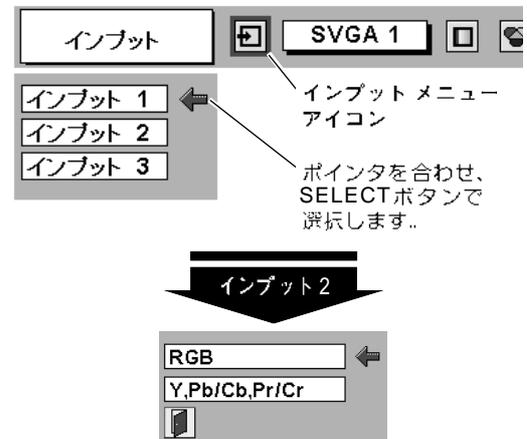


※ ボタンを押すごとに切り換わります。

インプットメニューで入力を切り換える

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをインプットメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタをメニュー内におろし、「インプット 1」または「インプット 2」にポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。
- 3 「インプット 2」を選択しSELECT ボタンを押すと、信号形式選択メニューが現われます。ポインタを「RGB」に合わせ、SELECT ボタンで選んでください。

インプットメニュー



コンピュータシステムの選択

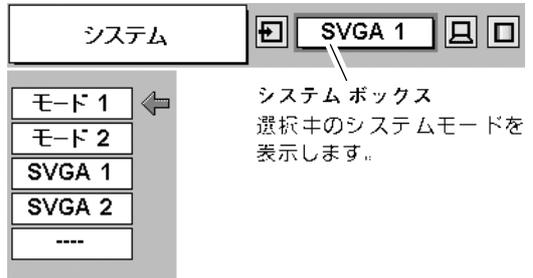
システムモードが自動選択されます

(マルチスキャンシステム)

本機は接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステムモード（VGA、SVG A、XGA、SXGA、WXGA、UXGA・・・）を自動で選択しますので、ほとんどの場合、特別な操作をせずにコンピュータ画面を投射することができます。選択されたシステムモードは、メニューバーのシステムボックスに表示されます。（36、37ページ参照）

※ システムボックスには、下記のメッセージが表示されることがあります。

システムメニュー



● システムボックスに表示されるメッセージ ●

Auto

接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合、自動PC調整機能が動き、システムボックスに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投射されないときは、お使いのコンピュータに合わせてマニュアルで調整し、カスタムモードに登録してください。（36、37ページ参照）

コンピュータの入力信号がありません。接続を確認してください。（13、20ページ参照）

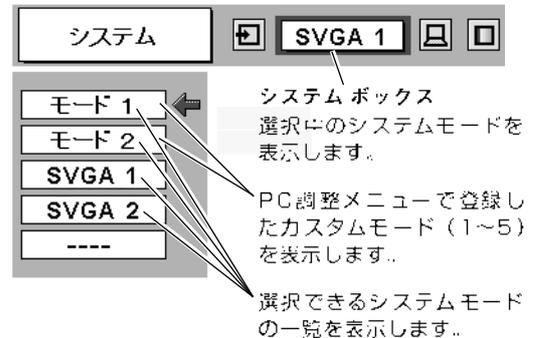
システムモードをマニュアルで選択するとき

カスタムモード を選択するときなどは、マニュアルでシステムモードを選択してください。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをシステムボックスに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタをメニュー内におろし、 選択したいシステムモードにポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択します。

※カスタムモード：お使いのコンピュータに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。(36、37ページ参照)

システムメニュー



コンピュータシステムの調整

自動PC調整機能

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「画面位置」の3項目を自動調整することができます。

自動PC調整

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをPC調整メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタをメニュー内におろし、自動PC調整のアイコンにポインタを合わせてSELECT ボタンを押すとPC調整画面が出ますので、SELECT ボタンをもう一度押して自動調整してください。

自動PC調整機能は、リモコンまたは操作パネルのAUTO PC ADJ. ボタンを押してもはたらきません。

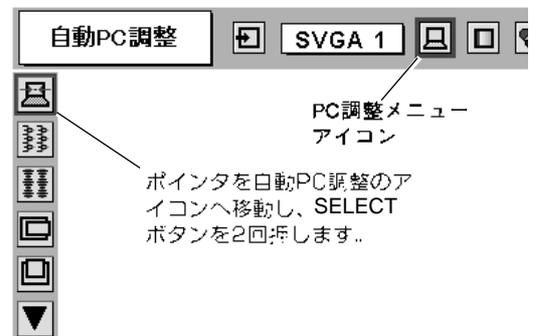
※自動PC調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」のすべてを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整し、カスタムモードに登録してください。(36、37ページ参照)

※自動調整した内容を一度登録しておく、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、36ページのマニュアルPC調整の手順3をごらんください。

※以下のときは、自動PC調整機能ははたらきません。

- ・システムメニューで、480p、575p、480i、575i、1035i、1080i 60、1080i 50を選択しているとき

PC調整メニュー



マニュアルPC調整（カスタムモードを登録する）

本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、コンピュータによっては自動選択できないものもあります。メニューバーのシステムボックスに「Auto」と表示され、画像が正しく投映されないときは、PC調整メニューでマニュアル調整し、カスタムモードを登録してください。登録したカスタムモードは、システムメニューで選択できます。カスタムモードとして5つまで登録することができます。

1 MENUボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをPC調整メニューのアイコンに合わせます。

2 ポイントボタン下でポインタをメニュー内におろして調整したい項目のアイコンにポインタを合わせ、SELECTボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながらポイントボタンの左右で行ないます。

※画面領域 H と V は、ポイントボタンで調整後SELECTボタンを押して調整値を決定する必要があります。

3  **メモリー**

ポインタをメモリーアイコンに合わせ、SELECTボタンを押すと、PC調整データ登録メニューが現われます。登録したいモード（モード1から5までのいずれか）にポインタを合わせ、SELECTボタンを押します。

 **データ消去**

ポインタをデータ消去アイコンに合わせ、SELECTボタンを押すと、PC調整データ消去メニューが現われます。消去したいモードにポインタを合わせ、SELECTボタンを押します。

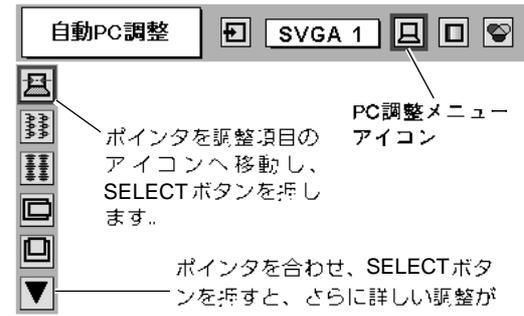
 **リセット**

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。

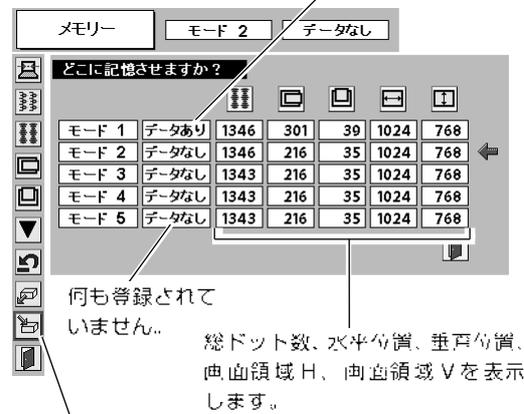
 **戻る**

メニューを終了します。

PC調整メニュー

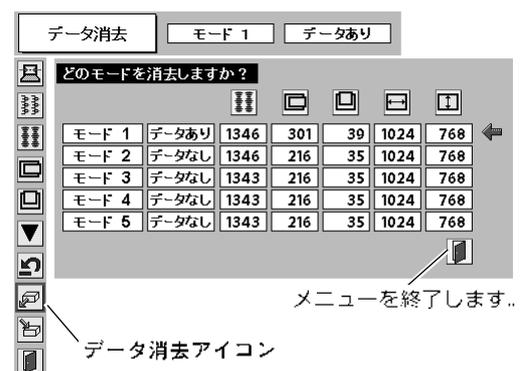


PC調整データ登録メニュー



メモリーアイコン

PC調整データ消去メニュー



調整項目



トラッキング

トラッキング（同期）がずれて画面のチラつきがあるときに調整します。（0から31まで）
 ※コンピュータによっては、画面のチラつきが完全に消えない場合があります。



総ドット数

1水平期間の総ドット数を調整します。



水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。



垂直位置

画面の垂直方向の位置を調整します。



コンピュータ情報

現在接続しているコンピュータの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。



クランプ

クランプ位置を調整します。



画面領域

あらかじめ近い解像度に調整するときに使います。



画面領域H

水平解像度を調整します。ポイントボタンの左右でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。

※画面領域 Hは、ポイントボタンで調整後SELECT ボタンを押して調整値を決定する必要があります。



画面領域V

垂直解像度を調整します。ポイントボタンの左右でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

※画面領域 Vは、ポイントボタンで調整後SELECT ボタンを押して調整値を決定する必要があります。



フルスクリーン

オン・・・アスペクト比16：9のフルスクリーンサイズで投射します。

オフ・・・オリジナルの画像の縦横比で投射します。

※システムメニューで480i、480p、575i、575p、720p、1035i、1080i、60、1080i、50のシステムモードが選択されているときは、「トラッキング」「画面領域」「画面領域 H」「画面領域 V」「フルスクリーン」の調整はできません。

カスタムモードの登録状況（データあり/データなし）を表示します。

カスタムモード

トラッキング

モード 1 データあり

15

ポイントボタンの左右で値を調整します。

ポイントを合わせ、SELECT ボタンを押すと、さらに詳しい調整ができます。

コンピュータ情報

水平周波数	48.5
垂直周波数	60.0

ポイントを合わせ、SELECT ボタンを押すと、現在接続中のコンピュータの信号を表示します。

画面領域

モード 1 データあり

0

1024

768

オフ

ポイントを合わせ、SELECT ボタンを押すと、解像度選択メニューが現われます。

640x480
720x400
800x600
1024x768
1152x864
1280x1024
1366x768
1400x1050

イメージの調整

IMAGEボタンでイメージモードを選択する

リモコンまたは操作パネルのIMAGEボタンを押すことで、イメージモードが「標準」「リアル」「イメージ1」「イメージ2」「イメージ3」「イメージ4」と切り換わります。

標準

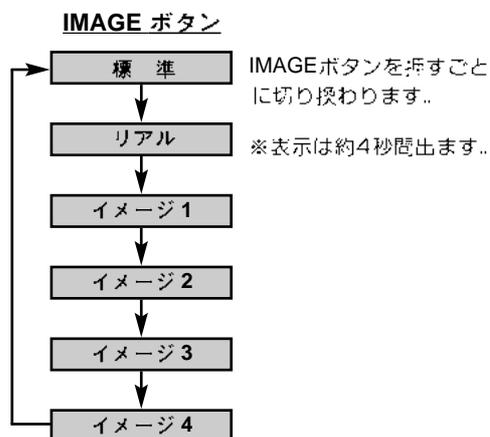
「コントラスト」「明るさ」「色温度」「ホワイトバランス（赤/緑/青）」「画質」「ガンマ補正」「ノイズリダクション」「プログレッシブ」が、工場出荷時設定の標準値になります。

リアル

中間調の再現性が高くなります。写真等のグラフィックスを自然な階調で再現できるように設定します。

イメージ1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。（39、40ページ参照）



イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

- 1 MENUボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをイメージ選択メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタをメニュー内におろしてお好みのイメージモードにポインタを合わせ、SELECTボタンで選びます。

標準

「コントラスト」「明るさ」「色温度」「ホワイトバランス（赤/緑/青）」「画質」「ガンマ補正」「ノイズリダクション」「プログレッシブ」が、工場出荷時設定の標準値になります。

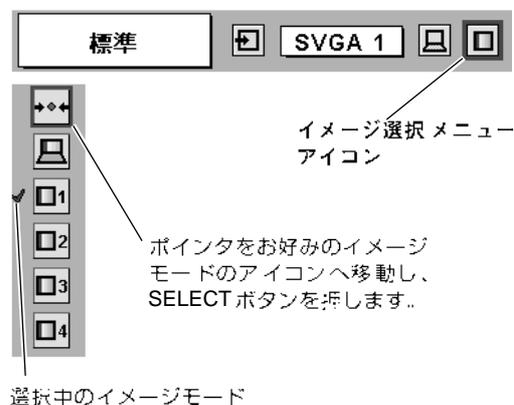
リアル

中間調の再現性が高くなります。写真等のグラフィックスを自然な階調で再現できるように設定します。

イメージ1~4

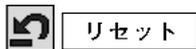
イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。（39、40ページ参照）

イメージ選択メニュー



マニュアルでイメージ調整を行なう

- 1 MENUボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをイメージ調整メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタをメニュー内におろして調整したい項目のアイコンにポインタを合わせ、SELECTボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながらポイントボタンの左右で行ないます。
- 3  **メモリー**
ポインタをメモリーアイコンに合わせ、SELECTボタンを押すと、イメージ調整データ登録メニューが現われます。登録したいイメージモード（イメージ1から4までのいずれか）にポインタを合わせ、SELECTボタンを押して登録します。



リセット

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。



戻る

メニューを終了します。

調整項目



コントラスト

ポイントボタン左でコントラストが薄くなり、ポイントボタン右でコントラストが濃くなります。(0から63まで)



明るさ

ポイントボタン左で画像が暗くなり、ポイントボタン右で画像が明るくなります。(0から63まで)



色温度

ポイントボタンの左右でお好みの色温度（超低—低—中—高）を選択します。

※ この設定をするとホワイトバランスの調整値も変化します



ホワイトバランス (赤/緑/青)

ポイントボタン左で各色調が薄くなり、ポイントボタン右で各色調が濃くなります。(0から63まで)

※ この設定をすると色温度の表示が「調整中」になります。



画質

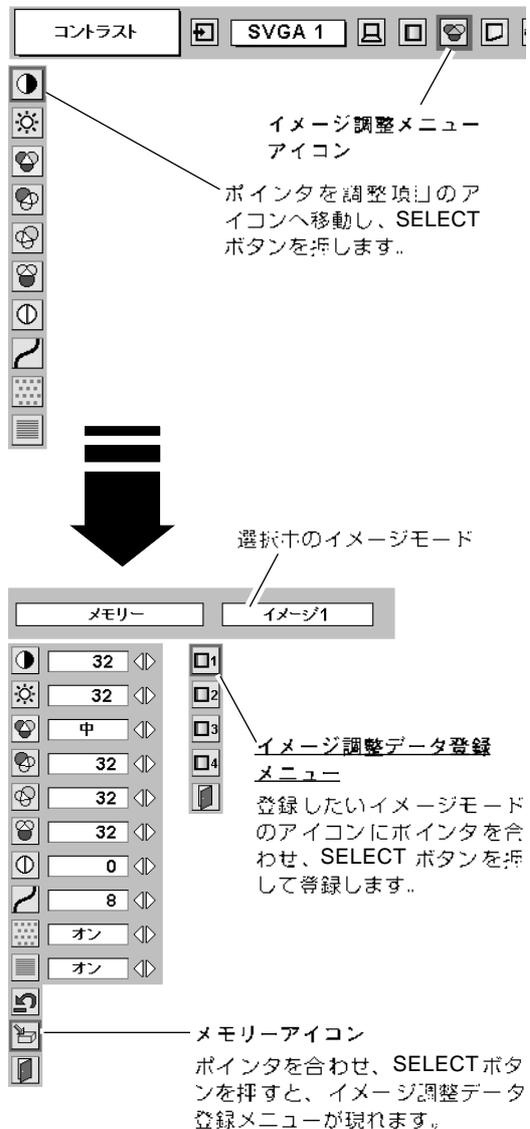
ポイントボタン左で映像がやわらかくなり、ポイントボタン右で映像がくっきりします。(0から15まで)



ガンマ補正

ポイントボタン左で画像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。(0から15まで)

イメージ調整メニュー



イメージ調整メニューアイコン

ポインタを調整項目のアイコンへ移動し、SELECTボタンを押します。

選択中のイメージモード

イメージ調整データ登録メニュー

登録したいイメージモードのアイコンにポインタを合わせ、SELECTボタンを押して登録します。

メモリーアイコン

ポインタを合わせ、SELECTボタンを押すと、イメージ調整データ登録メニューが現れます。

ポイントボタンの左右で値を調整します。



ノイズリダクション

オン・・・ノイズの多い映像を見るとき「オン」にすると、ザラつき（ノイズ）が軽減されます。

オフ・・・ノイズのない映像を見るときは「オフ」に設定してください。

※「ノイズリダクション」は、システムモードが480p、575p、480i、575i、720p、1035i、1080i 60、1080i 50のときのみ動作します。



プログレッシブ

ポイントボタンの左右で「オン」「オフ」を選択します。

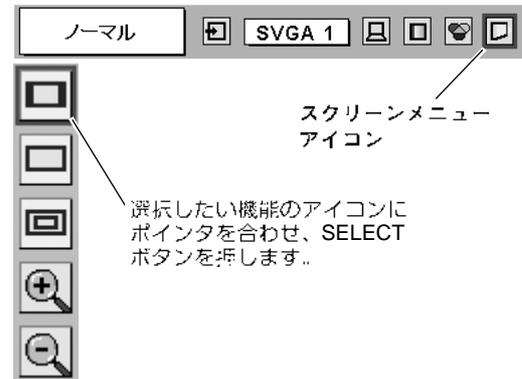
※「プログレッシブ」は、システムモードが480i、575i、1035i、1080i 50、1080i 60のときのみ動作します。

画面サイズを調整する

本機の液晶パネルは1366x768ドットです。お好みにより、画像サイズや水平スケールを変えることができます。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをスクリーンメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタをメニュー内におろして選択したい機能のアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択します。

スクリーンメニュー



ノーマル

画像を有効投映画面（1366x768ドット）の高さに合わせて投映します。

フル

アスペクト比4：3に圧縮された16：9の信号を、均等に左右に拡大し、もとの16：9のワイド画面にもどして投映します。

リアル

画像をオリジナルサイズで投映します。画像サイズが有効投映画面（1366x768ドット）よりも大きいときは、自動的に「デジタルズーム+」モードに入ります。

デジタルズーム+

「デジタルズーム+」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom+」表示が現われます。

SELECT ボタンを押すごとに画像が拡大します。

ポイントボタンの上下左右で画像を移動させます。

画像の移動機能は、画像サイズが有効投映画面（1366x768ドット）よりも大きいときのみはたります。

リモコンのD.ZOOM ▲ ボタンを押しても画像の拡大ができます。

デジタルズーム-

「デジタルズーム-」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom-」表示が現われます。

SELECT ボタンを押すごとに画像が縮小します。

リモコンのD.ZOOM ▼ ボタンを押しても画像の縮小ができます。

「デジタルズーム」モードから抜けるときは、D.ZOOM、SELECT、ポイント、LASER以外のボタンを押します。

※ システムメニューで720p、1035i、1080i 50または1080i 60のシステムモードが選択されているときは、スクリーンメニューは機能しません。

※ システムメニューで480i、575i、480p、575pのシステムモードが選択されているときは、「リアル」は選択できません。

※ システムメニューで480i、575i、480p、575p、720p、1035i、1080i 60、1080i 50のシステムモードが選択されているときは、「デジタルズーム+」は選択できません。

※ 本機はUXGA（1600x1200ドット）を超える解像度には対応しておりません。お使いのコンピュータの解像度がUXGA（1600x1200ドット）を超える場合は、プロジェクターに接続する前に低い解像度に再設定してください。

※ WXGA（1366x768ドット）以外の画像データは、有効投映画面（1366x768ドット）に合うように自動的に画像サイズが変更されます。

※ PC調整メニューでマニュアル調整したカスタムモードをコンピュータのシステムモードに使用しているときは、「デジタルズーム+」モードのときの画像の移動機能は上しくはたらないことがあります。

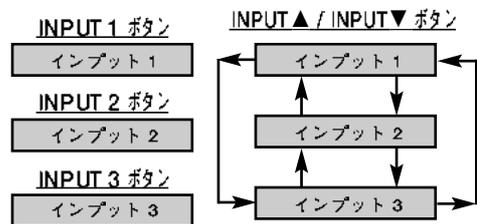
ビデオ入力

ビデオ入力に切り換える

INPUTボタンで入力を切り換える

リモコンのINPUT 2ボタン、INPUT 3ボタンまたは操作パネルのINPUT ▲ または、INPUT ▼ ボタンを押して、「インプット 2」または「インプット 3」を選択します。

※ 選択したインプットの画面表示は、そのときのランプステータス表示（30ページ参照）と共に約4秒間出ます。

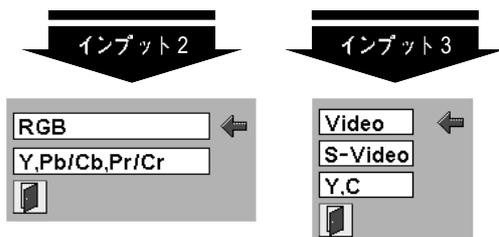
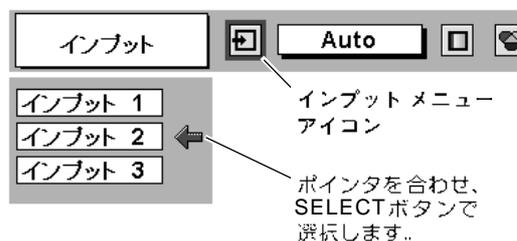


※ ボタンを押すごとに切り換わります。

インプットメニューで入力を切り換える

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをインプットメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタをメニュー内におろし、「インプット 2」または「インプット 3」にポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。
- 3 ポインタを入力信号の種類に合わせ、SELECT ボタンで選んでください。
 - ※ BNCx5ピン入力端子（R/Pr、G/Y、B/Pb）に接続したコンポーネント映像信号を選択するときは「Y、Pb/Cb、Pr/Cr」を選びます。
 - ※ VIDEO、Y、C、S-VIDEO入力端子のVIDEO、VIDEO/Y、CまたはS-VIDEOに接続した信号を選択するときは、「Video」「S-Video」「Y、C」の中から正しい信号形式を選んでください。

インプットメニュー



信号形式選択メニュー

ポインタを入力信号の種類に合わせ、SELECT ボタンを押して選択します。

カラーシステムや走査方式を選択する

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをシステムボックスに合わせます。
- 2 ポインタを希望するカラーシステムまたは走査方式に合わせ、SELECT ボタンで選んでください。

VIDEO、Y/C または S-VIDEO 端子入力選択時

Auto（自動）

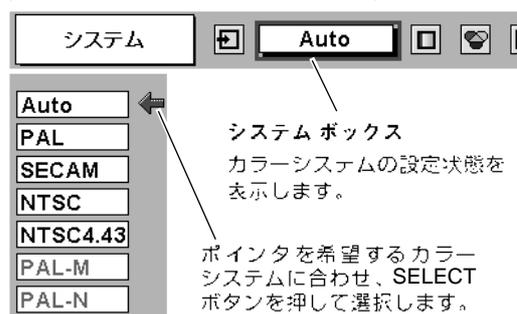
入力信号のカラーシステムにプロジェクターが自動で対応します。
※ PAL-MとPAL-Nは、「Auto」に設定しても、システムは自動で選択されません。ポインタを合わせ、SELECT ボタンを押して選んでください。

PAL・SECAM・NTSC・NTSC4.43・PAL-M・PAL-N

対応できるカラーシステムの一覧です。日本のカラーシステムはNTSCです。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定してもシステムが自動で選択されないとき（色ムラがある、色が出ないときなど）は、「NTSC」を選んでください。

システムメニュー

(コンポジット映像またはS映像入力時)



R/Pr, G/Y, B/Pb 端子入力選択時

Auto (自動)

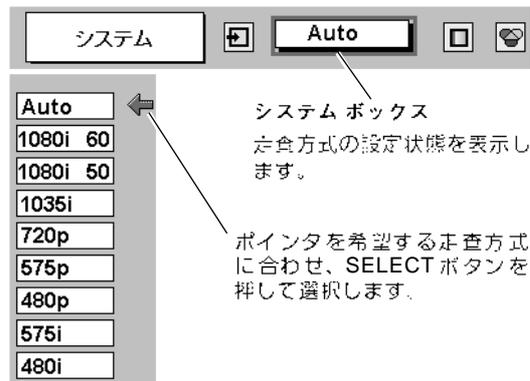
入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。

※ 1080i 60、1080i 50または1035iの信号を入力しているときは、「Auto」に設定しても、走査方式が自動で選択されません。ポインタを合わせ、SELECT ボタンを押して選んでください。

コンポーネント映像の走査方式

正しい映像が再生されないときは、1080i 60、1080i 50、1035i、720p、575p、480p、575i、480iの中から正しい走査方式を選んでください。

システムメニュー (コンポーネント映像入力時)



システム ボックス
走査方式の設定状態を表示します。

ポインタを希望する走査方式に合わせ、SELECT ボタンを押して選択します。

イメージの調整

IMAGEボタンでイメージモードを選択する

リモコンまたは操作パネルのIMAGE ボタンを押すごとに、イメージモードが「標準」「シネマ」「イメージ 1」「イメージ 2」「イメージ 3」「イメージ 4」と切り換わります。

標準

「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色合い」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「画質」「ガンマ補正」「ノイズリダクション」「プログレッシブ」が、工場出荷時設定の標準値になります。

シネマ

映画を見るのに適した階調表現を重視した画質に設定します。

イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。(44、45ページ参照)

IMAGEボタン

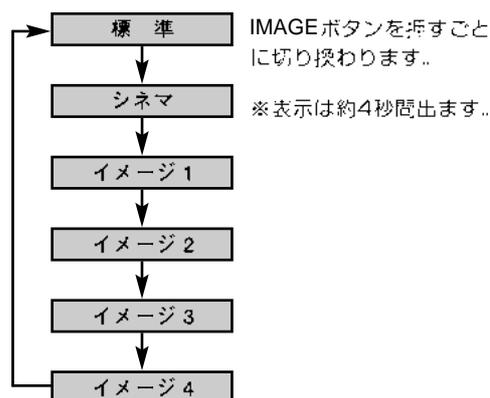


IMAGE ボタンを押すごとに切り換わります。

※表示は約4秒間出ます。

イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをイメージ選択メニューのアイコンに合わせます。

2 ポイントボタン下でポインタをメニュー内におろして好みのイメージモードにポインタを合わせ、SELECT ボタンで選びます。

標準

「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色合い」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「画質」「ガンマ補正」「ノイズリダクション」「プログレッシブ」が、工場出荷時設定の標準値になります。

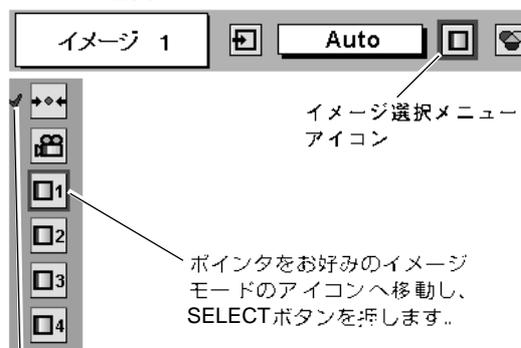
シネマ

映画を見るのに適した階調表現を重視した画質に設定します。

イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。(44、45ページ参照)

イメージ選択メニュー



イメージ選択メニュー
アイコン

ポインタをお好みのイメージモードのアイコンへ移動し、SELECT ボタンを押します。

選択中のイメージモード

マニュアルでイメージ調整を行なう

1 MENUボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをイメージ調整メニューのアイコンに合わせます。

2 ポイントボタン下でポインタをメニュー内におろして調整したい項目のアイコンにポインタを合わせ、SELECTボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながらポイントボタンの左右で行ないます。

3  **メモリー**

ポインタをメモリーアイコンに合わせ、SELECTボタンを押すと、イメージ調整データ登録メニューが現われます。登録したいイメージモード（イメージ1から4までのいずれか）にポインタを合わせ、SELECTボタンを押して登録します。

 **リセット**

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。

 **戻る**

メニューを終了します。

調整項目

 **コントラスト**

ポイントボタン左でコントラストが薄くなり、ポイントボタン右でコントラストが濃くなります。(0から63まで)

 **明るさ**

ポイントボタン左で映像が暗くなり、ポイントボタン右で映像が明るくなります。(0から63まで)

 **色の濃さ**

ポイントボタン左で色が薄くなり、ポイントボタン右で色が濃くなります。(0から63まで)

 **色合い**

ポイントボタン左で色が紫がかり、ポイントボタン右で色が緑がかります。(0から63まで)

※ カラーシステムがPAL、SECAM、PAL-M、PAL-Nのときは、「色合い」の調整はできません。(42ページ参照)

 **色温度**

ポイントボタンの左右でお好みの色温度（超低—低—中—高）を選択します。

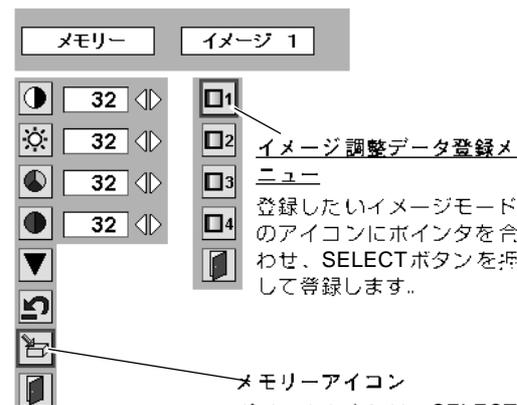
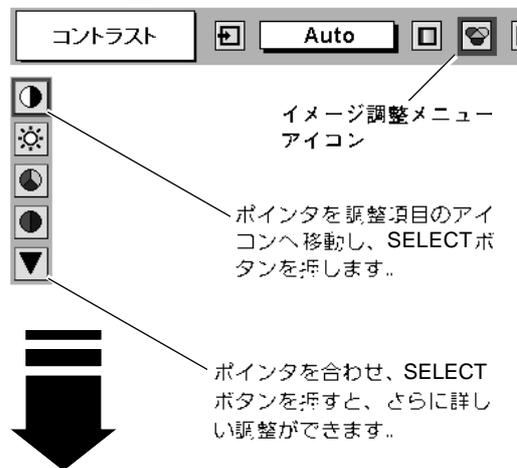
※ この設定をするとホワイトバランスの調整値も変化します。

 **ホワイトバランス（赤/緑/青）**

ポイントボタン左で各色調は薄くなり、ポイントボタン右で各色調は濃くなります。(各色0から63まで)

※ この設定をすると色温度の表示が「調整中」になります。

イメージ調整メニュー



調整項目



① 画質

ポイントボタン左で映像がやわらかくなり、ポイントボタン右で映像がくっきりします。(0から15まで)

② ガンマ補正

ポイントボタンの左右で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。(0から15まで)

③ ノイズリダクション

オン・・・古いビデオやノイズの多い映像を見るとき「オン」にすると、ザラつき(ノイズ)が軽減されます。

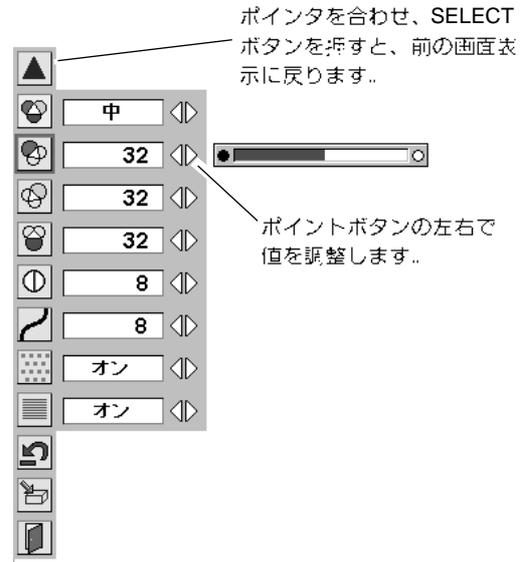
オフ・・・ノイズのない映像を見るときは「オフ」に設定してください。

④ プロGRESSIVE

オン・・・動きの少ない映像をより鮮明に投射します。

オフ・・・動きの多い映像でチラつきや横線が目立つときは、「オフ」に設定してください。

※ システムメニューで1080i 60、1080i 50、1035i、480p、575p、720pの信号を選択しているときは、「プロGRESSIVE」の「オン」「オフ」の切り換えはできません。



ポインタを合わせ、SELECTボタンを押すと、前の画質表示に戻ります。

ポイントボタンの左右で値を調整します。

画面サイズを選択する

お好みにより、画面サイズを4種類の中から選択できます。

1 MENUボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをスクリーンメニューのアイコンに合わせます。

2 ポイントボタン下でポインタをメニュー内におろして選択したい機能のアイコンにポインタを合わせ、SELECTボタンで選択します。

フル

アスペクト比4:3に圧縮された16:9の信号を、均等に左右に拡大し、もとの16:9のワイド画面にもどして投射します。

ズーム

入力信号が横幅いっぱいになるように均等に拡大します。

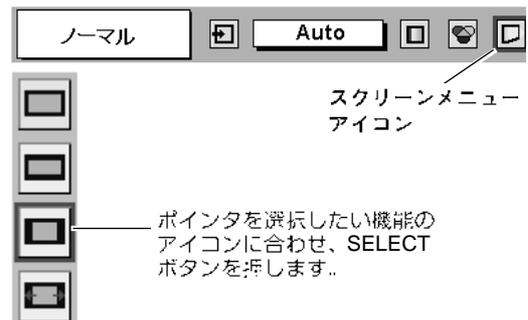
ノーマル

通常の映像のアスペクト比(横:縦)4:3で投射します。

ピッタリワイド

アスペクト比4:3の映像を16:9にして投射します。中心部はあまり変えずに上下左右を拡大し自然な映像になるように投射します。

スクリーンメニュー



スクリーンメニューアイコン

ポインタを選択したい機能のアイコンに合わせ、SELECTボタンを押します。

※ システムメニューで1080i 60、1080i 50、1035iまたは720pの信号(アスペクト比16:9)が選択されているときは、スクリーンメニューは機能しません。

各種セッティング

各種セッティング

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポイントをセッティングメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポイントをメニュー内におろして設定する項目のアイコンにポイントを合わせ、SELECT ボタンで選択します。
選んだ項目の設定画面が現われます。

調整項目

言語

画面表示の言語を切り換える機能です。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、ロシア語、中国語、韓国語、日本語の12か国語の中から選べます。

キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。キーストーンを選択すると画面からメニュー表示が消えて「キーストーン」表示が現われ、キーストーン調整モードに入ります。ポイントボタンの左右で画面の台形ひずみを補正します。(26ページ参照)

ブルーバック

信号のないときにブルーの画面を出す機能です。この機能を「オン」にすると、画像の再生前や中断時のノイズの画面を映さずにブルーの画面を映します。

オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択する機能です。
オン・・・すべての画面表示を出します。
オフ・・・以下の画面表示以外は出しません。

- ・メニューバー表示 (33ページ参照)
- ・電源を切るときの「もう一度押すと電源が切れます」の表示
- ・パワーマネジメント時のタイマー表示 (24、47ページ参照)
- ・P-TIMER表示 (27ページ参照)
- ・自動PC調整の「しばらくお待ちください」の表示

ロゴ

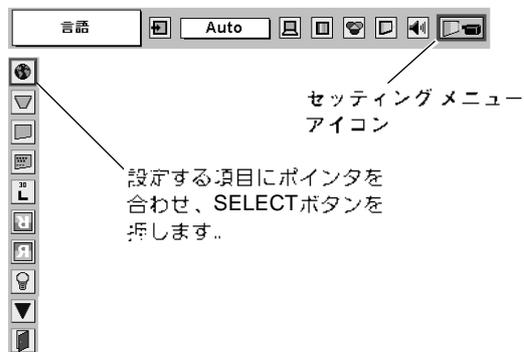
この機能を「オフ」にすると、電源を入れたときのロゴ表示を画面に出しません。

天吊り

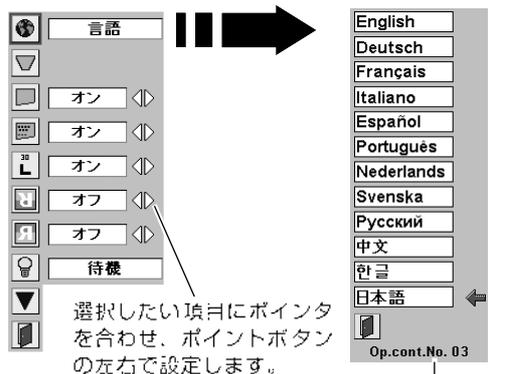
この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して映します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。

※ 吊り下げ型の設置には、専用の天吊り金具を使います。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

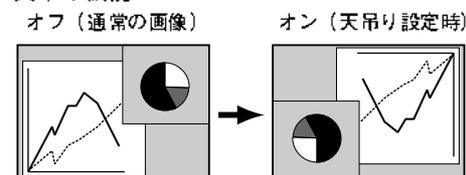
セッティングメニュー



言語のアイコンを選択すると言語メニューが現われます。



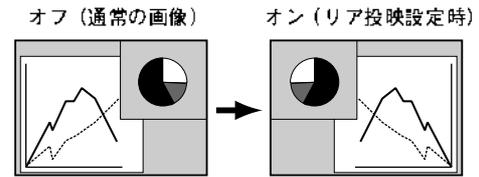
天吊り機能



リア映 リア映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して映します。透過型スクリーンの後ろから映射するとき設定します。

リア映機能



ライト パワーマネージメント

- オフ・・・パワーマネージメント機能を解除します。
- 待機・・・設定された時間が経つとランプが消灯しランプ冷却動作に入ります。ランプの冷却が完了するとREADYインジケータが緑の点滅を始めます。この時信号が入力されたり、プロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が映射されます。
- シャットダウン・・・設定された時間が経つとランプが消灯し電源が切れます。

✎ タイマーの設定

ポイントボタンの左右でパワーマネージメント機能が動作を開始するまでの時間を設定します。1～30分の範囲で設定できます。

パワーマネージメント動作詳細については24ページを参照ください。

※工場出荷時は「待機・5分」に設定されています。



ポイントボタン右で「オフ」→「待機」→「シャットダウン」の順に表示が切り替わります。

SELECTボタンを押して設定画面に入ります。



ランプ消灯までの時間

ON オンスタート

主電源スイッチ (MAINS SW) を「ON (入)」にすると、リモコンや操作パネルのON-OFFボタンを押さなくても、自動的にプロジェクターの電源を入れる機能です。

オン・・・主電源スイッチ (MAINS SW) を「ON (入)」にすると同時にプロジェクターの電源が入ります。

オフ・・・通常の電源の入り・切りを行いません。主電源スイッチ (MAINS SW) を「ON (入)」にしても、リモコンまたは操作パネルのON-OFFボタンを押さなければプロジェクターの電源は入りません。

※工場出荷時は「オフ」に設定されています。

その他の設定項目



ポイントを合わせ、SELECTボタンを押すと、その他の設定項目が現われます。

ライト ランプモード

本機にはランプが2灯搭載されていますが、プロジェクターを使う場所によってランプを2灯点灯と、1灯点灯に切り換えて使うことができます。あまり明るい画面を必要としない映射や、映射場所が比較的暗い場所では1灯点灯でご使用ください。ランプ寿命を長くしてご使用になれます。

- 💡💡・・・2灯のランプを点灯させます。
- 💡・・・1灯のランプを点灯させます。

※2灯から1灯へ切り換えた場合、ランプが1灯へ切り換えられ、少し暗くなります。1灯から2灯へ切り換えた場合は、ランプ点灯準備のためすぐに明るくならず、約60秒後に2灯点灯の明るさになります。

※2灯から1灯へ切り換えた後再び2灯へ切り換える場合や、1灯から2灯へ切り換えた後再び1灯へ切り換える場合、約90秒間はランプ点灯準備のため切り換えができません。

※工場出荷時は「💡💡」に設定されています。



ポイントを合わせ、SELECTボタンを押すと、前の画面表示に戻ります。

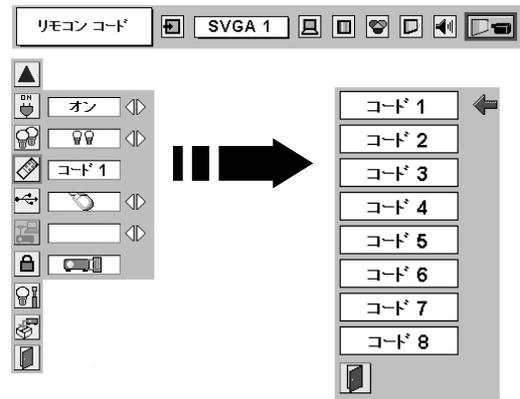
選択したい項目にポイントを合わせ、ポイントボタンの左右で設定します。

将兵、NETWORK機能が追加されたときに使用するアイコンです

*オプションのインターフェースボード

リモコンコード

本機は8種類のリモコンコード（「コード1」～「コード8」）の設定が可能です。複数のプロジェクターを使用するときリモコンコードを使い分けて使用することができます。工場出荷時は「コード1」に設定されています。リモコンコードを他のコード（「コード2」～「コード8」）に変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り換える必要があります。プロジェクターのリモコンコードを切り換えるにはメニューのリモコンコードを選択し、設定するリモコンコードを選択します。リモコンのコードの切り替えは、リモコンの電池カバー内にあるディップスイッチで行ないます。（17ページ「ディップスイッチの設定」参照）



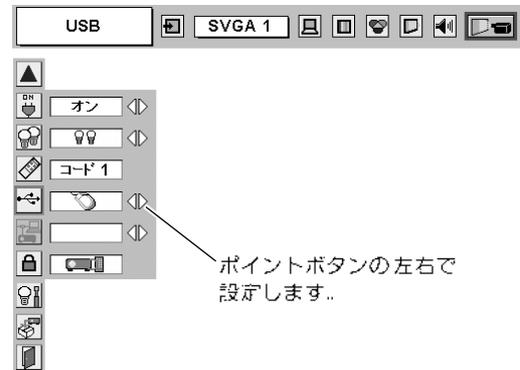
USB

本機のUSB端子にコンピュータのUSB端子を接続し、コンピュータと連結してプロジェクターを使用するときのUSB端子の機能選択を行ないます。ポイントボタンで機能の選択を行ないます。

-  ... 本機のリモコンをコンピュータのマウスとして使用するときを選択します。
-  ... USB端子をプロジェクターの制御などに使用するときを選択します。

※ この機能は将来のために設けられているものです。現時点ではご使用になれません。

※ 工場出荷時は「」に設定されています。



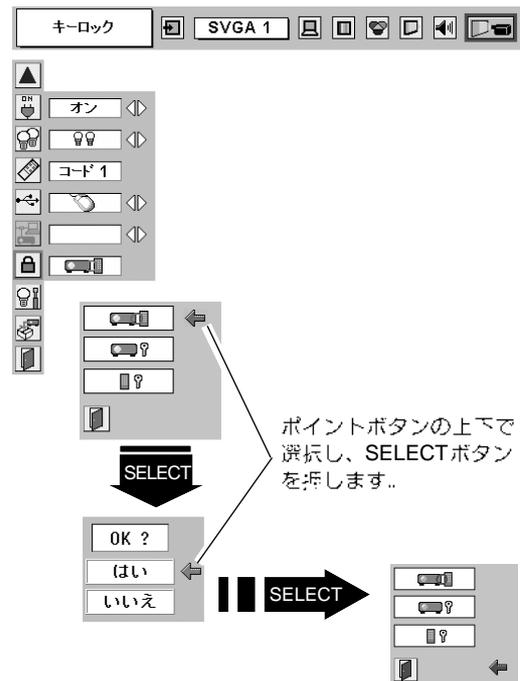
キーロック

操作ボタンをロックして、プロジェクターが誤って操作されることを防ぎます。たとえば、リモコンをプロジェクターの鍵として使うこともできます。

-  ... 操作パネルからの操作をロックします。
-  ... リモコンの操作をロックします。
-  ... キーロックを解除します。

※ 工場出荷時は「」に設定されています。

※ 一度電源コードを抜いて、SELECTボタンを押しながら、電源コードをさし、プロジェクターの電源を入れると、これらキーロックが解除されます。



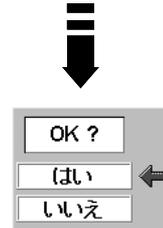
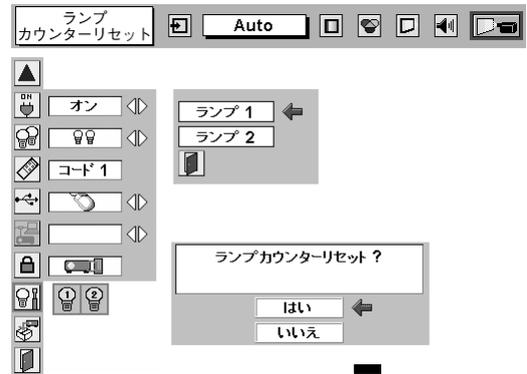
 **ランプカウンターリセット**

ランプカウンターをリセットするメニューです。ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットするとLAMP REPLACEインジケータ（黄）の点灯が消えます。

 **注意** 光源ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。

- 1 MENUボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをセッティングメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下で「ランプカウンターリセット」の項目を選択し、SELECTボタンを押します。
- 3 「ランプカウンターリセット？」が現われますので、ポイントボタンの上下で **はい** にポインタを合わせ、SELECTボタンを押します。
- 4 さらに、「OK?」と確認の表示が現われます。ポイントボタンの上下で **はい** にポインタを合わせ、SELECTボタンを押します。カウンターがリセットされます。

ランプカウンターリセット



 **初期設定**

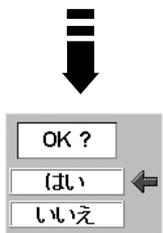
ランプカウンター（点灯時間）以外の設定を、工場出荷状態に戻します。

※ この設定は電源・主電源を切っても有効です。

 **ご注意**

この設定が実行されると、お客さまが設定された内容はすべて失われ、各設定内容は工場出荷時の状態となります。

- 1 MENUボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをセッティングメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下で「初期設定」の項目を選択し、SELECTボタンを押します。
- 3 「初期設定へ戻しますか？」が現われますので、ポイントボタンの上下で **はい** にポインタを合わせ、SELECTボタンを押します。
- 4 さらに、「OK?」と確認の表示が現われます。ポイントボタンの上下で **はい** にポインタを合わせ、SELECTボタンを押します。設定が工場出荷時に戻ります。



その他の機能

リモコンでコンピュータを操作する

付属のリモコンはコンピュータのワイヤレスマウスとしてお使いいただけます。コンピュータマウスの代わりにリモコンでポインタを操作することができます。

準備をしてください

リモコンをワイヤレスマウスとして使用するには、マウスドライバが必要です。お使いのコンピュータにマウスドライバがインストールされていることを確認してください。

また、はじめにコンピュータの環境設定で、マウスポート¹⁾が、マウスコントロールケーブル（付属）を接続するポートに設定してあることを確認してください。

1 付属のマウスコントロールケーブルで、コンピュータのマウスポート（または別売のUSBケーブル）と、プロジェクターのCONTROL PORT端子（またはUSB端子）を接続します。²⁾（13ページ参照）

2 マウスコントロールケーブルを接続したら、はじめにプロジェクターの電源を入れてからコンピュータの電源を立ち上げてください。先にコンピュータの電源を立ち上げると正しく動作しない場合があります。

※ コンピュータのマウスポートとプロジェクターのCONTROL PORT端子をつないだときはプロジェクターのリモコンコードが「コード1」のときにだけはたります。コンピュータとプロジェクターのUSB端子をつないだときはすべてのリモコンコードではたります。

※注1：マウスポートは、コンピュータのマウスを接続する端子です。設定のしかたは、お使いになるコンピュータの説明書を参照してください。

※注2：一部のコンピュータでマウスポートのないものは、シリアル用マウスコントロールケーブルを使ってシリアルポートに接続します。

USB端子付きのコンピュータでUSBマウスをお使いの場合は、市販のUSBケーブルでコンピュータとプロジェクターのUSB端子を接続します。

マウスポインタの動かし方

マウスポインタの操作は、リモコンの「ポイントボタン」「左クリックボタン」「右クリックボタン」で行ないます。

ポイントボタン

マウスポインタの移動を行ないます。ポイントボタンの上下左右を押すと、マウスポインタが移動します。

左クリック ボタン

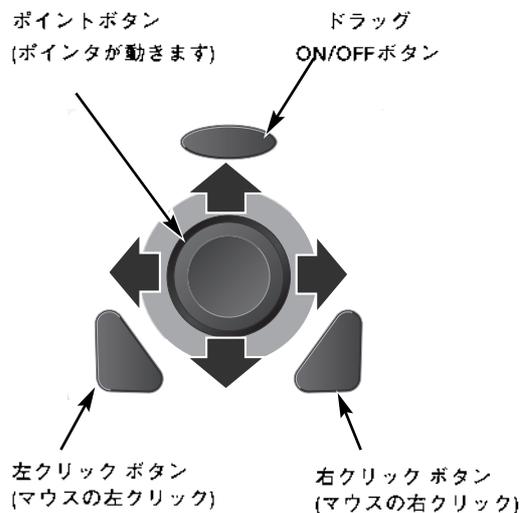
コンピュータマウスの左クリックのはたらきをします。ドラッグするとき、このボタンを押したままポイントボタンで移動させます。

右クリック ボタン

コンピュータマウスの右クリックのはたらきをします。

ドラッグ ON / OFF ボタン

ドラッグしたい画像にマウスポインタをあわせ、ドラッグ ON / OFF ボタンを押します。（ドラッグオンインジケータが緑に点灯し、ドラッグ機能がONの状態になります。）ポイントボタンを使って、画像を移動させます。再度ドラッグ ON / OFF ボタンを押すか、他のボタンを押してドラッグ機能を解除します。



カードスロット式接続端子の交換

接続端子の入れ替え可能なカードスロット式接続端子により、端子カードの入れ替えで外部機器またはシステム組み込みに合わせてプロジェクターを使用することができます。

カードスロット式接続端子の交換のしかた

- 1 交換する接続端子のネジ2本を外します。(図1参照)
- 2 接続端子の両側のハンドルを持ち、接続端子をプロジェクター本体から引き出します。(図1参照)
- 3 接続端子をガイドに沿って差し込みます。接続端子のソケットがプロジェクター本体奥のプラグに正しく接続されるように、奥までしっかりと差し込んでください。(図2参照)
- 4 ネジ2本で接続端子を固定します。(図2参照)

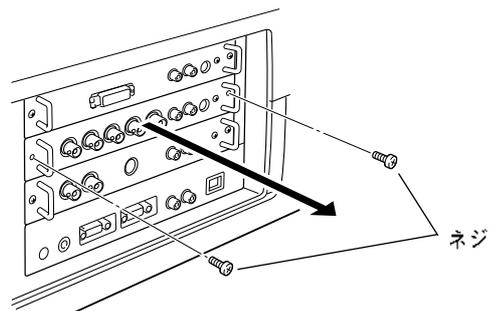


図1. 接続端子の外しかた

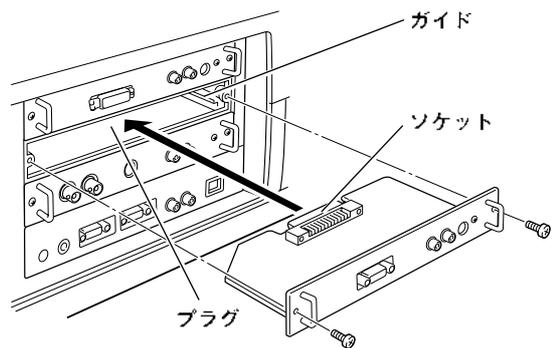


図2. 接続端子の取り付けかた

⚠ 注意

接続端子の取り外し、取り付けはプロジェクターの電源を切って行ってください。電源を入れたままで取り付け、取り外しを行うと、接続端子およびプロジェクター破損の原因となります。

別売インターフェイスボード（接続端子）のご使用について

別売のインターフェイスボードをご使用になるときは、取扱販売店にご相談ください。取扱販売店にご相談頂くとき、プロジェクターのオプションコントロールナンバーもご連絡ください。

オプションコントロールナンバーは、操作メニューの中の言語選択表示の下部に表示されています。(右図参照)

※関連操作メニュー（46ページ）を参照ください。



オプションコントロールナンバー
Op. cont. No. 03

↑
このナンバーをご連絡ください。

光源ランプの交換

LAMP REPLACEインジケータの点灯

ランプが故障や寿命になるとLAMP REPLACE インジケータ（黄）が点灯または点滅します。ランプステータス表示（30ページ参照）で該当ランプをご確認のうえ、ランプ交換を行なってください。LAMP REPLACEインジケータは、ランプを交換するまで電源「ON（入）」のときに点灯または点滅します。

光源ランプの交換のしかた

ランプ交換はランプハウスごとに行ないます。必ず指定のランプハウスを取り付けてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、つぎのことをお知らせください。

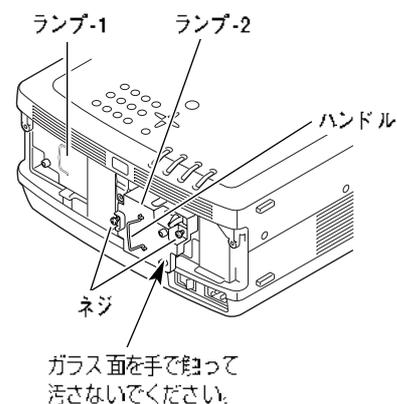
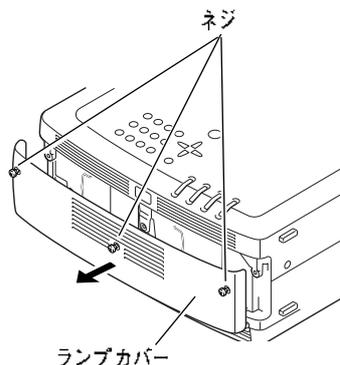
- ・交換ランプの品番：POA-LMP73（サービス部品コード：610 309 3802）
- ・プロジェクターの品番：LP-WF10



注意

動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、45分以上放置してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをする恐れがあります。

- 1 主電源を切り、電源コードを抜きます。必ず45分以上放置してください。
- 2 (+)ドライバーで3本のネジをゆるめ、ランプカバーを外します。
- 3 交換を必要とするランプ番号表示のあるランプハウスの2本のネジをゆるめ、ハンドルを持ってランプハウスごと引き出します。
- 4 交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、2本のネジを締めて固定します。
- 5 ランプカバーを取り付け、3本のネジを締めて固定します。



● ランプは2個同時に交換することをおすすめします ●

バランスのとれた明るさおよび色合いを保つため、ランプ交換をするときは、2個のランプを同時に交換することをおすすめします。

⚠ 注意

ランプの一方を取り外した状態でプロジェクターの電源を入れないでください。破損の原因となります。

ランプカウンターをリセットします

ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットするとLAMP REPLACEインジケータ（黄）の点灯が消えます。

「ランプカウンターのリセット」のしかたは、49ページのランプカウンターリセットの設定を参照ください。

⚠ ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプはつぎのような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態、画像が次第に暗くなる、色合いが不自然になるなどして寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（LAMP REPLACE インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。
- ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。万一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入るおそれがあります。

⚠ ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行なってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。販売店または当社サービスステーションへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

⚠ 使用済みランプの廃棄について

プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき ●

レンズや本体にホコリが付着しないよう、レンズカバーをはめ、キャリーバッグに納めて保管してください。

● キャビネットのお手入れ ●

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

● キャビネットをいためないために ●

キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

● ベンジン・シンナーは使わないで ●

ベンジンやシンナーなどでふきますと変質したり、塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

● レンズのお手入れ ●

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブローブラシやレンズクリーナー（カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー）で行なってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。

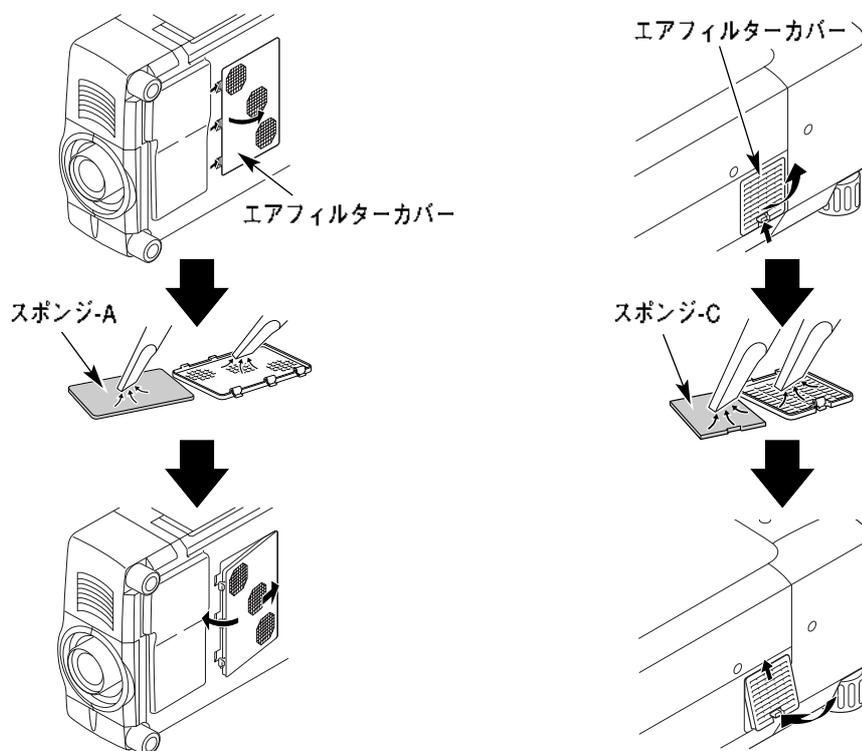
● エアフィルターのお手入れ ●

吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターはこまめに掃除してください。（掃除のしかたは、55ページを参照）

エアフィルターはこまめに掃除してください

吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまると空気の通りが悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障の原因になります。エアフィルターは、こまめに掃除してください。

- 1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。掃除は必ず電源を切ってから行なってください。
- 2 エアフィルターカバーのツメを引き、2箇所の各エアフィルターカバーとスポンジを外します。(下図参照)
- 3 エアフィルターカバー、スポンジ、フィルター取り付け部周辺のホコリをブラシで取ります。
- 4 2箇所の各スポンジとエアフィルターカバーを取り付けます。(下図参照)



スポンジの汚れがひどいときは、水洗いの後よく乾かしてから取り付けてください。取り替え用スポンジ(別売)は、お買い上げの販売店にご相談ください。

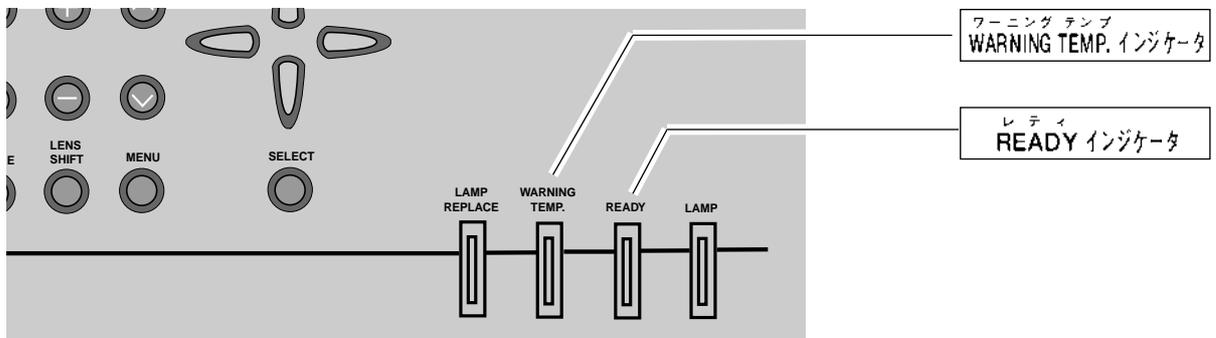
取り替え用 スポンジ-A の品番： 610 292 3162

取り替え用 スポンジ-C の品番： 610 292 3186

●お掃除の際にご注意ください●

- ・ エアフィルター部の穴から内部へ、ものを差し込まないでください。内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- ・ エアフィルターを取り外した状態でプロジェクターを使用しないでください。液晶パネル、レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。
- ・ エアフィルターは、ていねいに扱ってください。穴があいたり、破れたりすると、フィルターの効果が損なわれます。

内部の温度上昇について



本体インジケータ部

WARNING TEMP. インジケータの点滅

本機内部の温度が高くなると WARNING TEMP.インジケータ（赤）が点滅し、保護のために自動的に電源が切れ、READYインジケータ（緑）も消えます。（WARNING TEMP.は点滅を続けます。）温度が下がるとREADYインジケータが点灯し、リモコンおよび本体のON-OFF ボタンで電源を入れることができます。電源を入れるとWARNING TEMP.の点滅が消えます。WARNING TEMP.インジケータの点滅が消えないときは、次のことを確認してください。

ここを確認してください

- ・ 底面のエアフィルターにホコリがたまっていませんか。フィルターを掃除してください。
- ・ 排気口や吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- ・ 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。（使用温度範囲：5℃～35℃）
- ・ 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

電源を入れるときは、READYインジケータが点灯していることを確認してください。内部の温度が下がっていない場合は、再び WARNING TEMP.インジケータが点滅して電源が切れます。

プロジェクターの電源が切れ、WARNING TEMP. と READY インジケータが点滅しているとき

プロジェクター内部で異常が検出されると、プロジェクターの電源が切れ、WARNING TEMP.とREADYインジケータが点滅を始めます。このとき、リモコンおよび本体のON-OFF ボタンでの電源入り切りはできなくなります。このような時は、電源プラグをコンセントから抜き、プロジェクターの点検を取扱販売店、またはサービス会社にご依頼ください。電源コンセントを接続したまま放置しないでください。火災や事故の原因となります。

プロジェクターの電源を再び入れ、プロジェクターを点検するときは、本体の主電源スイッチを一旦切るか、または電源コードを一旦コンセントから抜いて電源を入れ直してください。再び電源が切れ、WARNING TEMP.とREADYインジケータが点滅する場合、内部の点検と修理が必要です。サービス会社へご依頼ください。

インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しない等、動作が不明なときは、下表にしたがい各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがい適切なメンテナンスを行ってください。

インジケータの名称と点灯状態				プロジェクターの状態
LAMP REPLACE 黄	WARNING TEMP. 赤	READY 緑	LAMP 赤	
●	●	●	●	主電源スイッチ (MAINS SW) が「OFF (切)」になっています。または電源コードがコンセントから抜けています。
※	●	○	○	プロジェクターはスタンバイ状態です。ON-OFF ボタンを押すと動作します。
※	●	○	●	プロジェクターは正常に動作しています。
※	☹	●	○	プロジェクターの内部温度が高くなっています。電源は入りません。プロジェクターが冷却され、正常な温度になると、READY インジケータが点灯し、電源が入れます。(WARNING TEMP. は点滅したままです。) エアフィルターの点検などを行なってください。
※	☹	○	○	内部の冷却が完了し、正常な温度に戻りました。ON-OFF ボタンを押すと、プロジェクターが動作します。エアフィルターの点検などを行なってください。
※	●	●	○	ランプの冷却中です。READY インジケータが点灯するまで、電源を入れることはできません。
※	☹	☹	○	プロジェクターの内部に異常が検出されました。ON-OFF ボタンを押しても電源は入りません。一度電源コードをコンセントから抜き、電源を入れ直してください。再び電源が切れ、インジケータが点灯するときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理をサービス会社へご依頼ください。点灯したまま放置しないでください。火災や感電の原因となります。
※	●	☹	●	パワーマネジメントモードになっています。プロジェクターを操作すると、ランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。

○ ……点灯 ○☹ ……点滅 ● ……暗く点灯 ● ……消灯

※ ……点灯または点滅するとランプの寿命です。(正常時は消灯) すみやかにランプを新しいものと交換してください。ランプ交換後は、ランプカウンターをリセットしてください。(49ページ参照)

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、次のことをお確かめください。

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードは接続されていますか ● 電源スイッチ (MAINS SW) は「ON (入)」になっていますか。ON-OFFボタンを押してみてください。 ● READYインジケータ<緑>が消えているときは、ON-OFFボタンを押しても電源が入りません。 ● WARNINGインジケータが赤く点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており、ON-OFFボタンを押しても保護のため電源は入りません。温度が下がるまでお待ちください。 ● 「キーロック」がはたらいていませんか。リモコンのON-OFFボタンを押してみてください。 	23、24 56、57 48
画像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータやビデオ機器は正しく接続されていますか。接続を確認してください。 ● 電源を入れたあと約30秒間はオープニング画面が出て、画像は決せません。 ● レンズカバーをとりましたか。 ● コンピュータモードのときはコンピュータのシステムモードが、ビデオモードのときは信号の種類とカラーシステムや走査方式が合っていますか。 ● 使用温度範囲 (5℃～35℃) からはずれていませんか。 ● NO SHOWモードになっていませんか。NO SHOWボタンを押してみてください。 	13、20、21 23 34、42
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータやビデオ機器の音声は正しく接続されていますか。接続を確認してください。 ● 音量が最小になっていませんか。VOLUME +ボタンを押してみてください。 ● 消音状態になっていませんか。MUTEボタンを押すか、VOLUME +ボタンを押してみてください。 ● 抵抗内蔵のオーディオケーブルを使用していませんか。抵抗なしのオーディオケーブルを使用してください。 	13、20、21 28 28
画像が不鮮明	<ul style="list-style-type: none"> ● フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。 ● スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか。(別冊の「レンズ交換・取付作業手順書」参照) ● スクリーンに対して過度に斜めに投射しているときは、画面に台形ひずみ (あおり) ができ、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。 ● 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。 ● レンズシフト機能で画面位置を変えたときは、多少画面が暗くなる場合があります。 	25 13、26、46 25
映像が左右 (上下) 逆さまに映っている	<ul style="list-style-type: none"> ● 「リア投映」や「天吊り」機能が「オン」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。 	46、47
オンスクリーンメニューが出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 「オンスクリーン表示」が「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。 	46
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池は正しく入っていますか。+-を正しく入れてください。 ● 電池がなくなっていないですか。新しい電池と交換してください。 ● 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物はないですか。リモコンはリモコン受信部に向けて操作してください。障害物があれば移動させてください。 ● リモコンの受信範囲から、はずれていませんか。受信範囲で操作してください。 ● リモコンのALL OFFスイッチが、「ALL OFF」側になっていませんか。「ON」側にして操作してください。 ● リモコンコードを切り替えていませんか。リモコンコードを確認してください。 ● 「キーロック」でリモコンからの操作をロックしていませんか。操作パネルから「セッティング」を確認してください。 	16 16 16 16 15 17、48 48
コンピュータのワイヤレスマウスとして動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ● マウスコントロールケーブルは正しく接続されていますか。 ● 接続するコンピュータにマウスドライバがインストールされていますか。ワイヤレスマウスとして使うにはコンピュータにマウスドライバがインストールされている必要があります。 ● 一旦電源を切り、プロジェクターの電源を先に入れてから、コンピュータを立ち上げてみてください。 	20 50

コンピュータシステムモード一覧

コンピュータの信号がアナログの場合

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。(カスタムモード1~5は含みません。)
接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
VGA 1	640 x 480	31.47	59.88	XGA15	1024 x 768	58.03	72.0
VGA 2	720 x 400	31.47	70.09	Mac 19	1024 x 768	60.24	75.08
VGA 3	640 x 400	31.47	70.09	Mac 21	1152 x 870	68.68	75.06
VGA 4	640 x 480	37.86	74.38	SXGA 1	1152 x 864	64.20	70.40
VGA 5	640 x 480	37.86	72.81	SXGA 2	1280 x 1024	62.50	58.60
VGA 6	640 x 480	37.50	75.00	SXGA 3	1280 x 1024	63.90	60.00
VGA 7	640 x 480	43.269	85.00	SXGA 4	1280 x 1024	63.34	59.98
Mac LC13	640 x 480	34.97	66.60	SXGA 5	1280 x 1024	63.74	60.01
Mac 13	640 x 480	35.00	66.67	SXGA 6	1280 x 1024	71.69	67.19
480p	(プログレッシフ)	31.47	59.88	SXGA 7	1280 x 1024	81.13	76.107
575p	(プログレッシフ)	31.25	50.00	SXGA 8	1280 x 1024	63.98	60.02
575i	(インターレース)	15.625	50.00	SXGA 9	1280 x 1024	79.976	75.025
480i	(インターレース)	15.734	60.00	SXGA 10	1280 x 960	60.00	60.00
SVGA 1	800 x 600	35.156	56.25	SXGA 11	1152 x 900	61.20	65.20
SVGA 2	800 x 600	37.88	60.32	SXGA 12	1152 x 900	71.40	75.60
SVGA 3	800 x 600	46.875	75.00	SXGA 13	1280 x 1024 (インターレース)	50.00	86.00
SVGA 4	800 x 600	53.674	85.06	SXGA 14	1280 x 1024 (インターレース)	50.00	94.00
SVGA 5	800 x 600	48.08	72.19	SXGA 15	1280 x 1024	63.37	60.01
SVGA 6	800 x 600	37.90	61.03	SXGA 16	1280 x 1024	76.97	72.00
SVGA 7	800 x 600	34.50	55.38	SXGA 17	1152 x 900	61.85	66.00
SVGA 8	800 x 600	38.00	60.51	SXGA 18	1280 x 1024 (インターレース)	46.43	86.70
SVGA 9	800 x 600	38.60	60.31	SXGA 19	1280 x 1024	63.79	60.18
SVGA 10	800 x 600	32.70	51.09	SXGA 20	1280 x 1024	91.146	85.024
SVGA 11	800 x 600	38.00	60.51	SXGA 21	1400 x 1050	63.93	60.00
Mac 16	832 x 624	49.72	74.55	Mac	1280 x 960	75.00	75.08
XGA 1	1024 x 768	48.36	60.00	Mac	1280 x 1024	80.00	75.08
XGA 2	1024 x 768	68.677	84.997	WXGA 1	1366 x 768	48.36	60.00
XGA 3	1024 x 768	60.023	75.03	WXGA 2	1360 x 768	47.70	60.00
XGA 4	1024 x 768	56.47	70.07	WXGA 3	1376 x 768	48.36	60.00
XGA 5	1024 x 768	60.31	74.92	WXGA 4	1360 x 768	56.16	72.00
XGA 6	1024 x 768	48.50	60.02	UXGA 1	1600 x 1200	75.00	60.00
XGA 7	1024 x 768	44.00	54.58	UXGA 2	1600 x 1200	81.25	65.00
XGA 8	1024 x 768	63.48	79.35	UXGA 3	1600 x 1200	87.50	70.00
XGA 9	1024 x 768 (インターレース)	36.00	87.17	UXGA 4	1600 x 1200	93.750	75.00
XGA 10	1024 x 768	62.04	77.07	720p	(プログレッシフ)	45.00	60.00
XGA 11	1024 x 768	61.00	75.70	1035i	(インターレース)	33.75	60.00
XGA 12	1024 x 768 (インターレース)	35.522	86.96	1080i 60	(インターレース)	33.75	60.00
XGA 13	1024 x 768	46.90	58.20	1080i 50	(インターレース)	28.125	50.00
XGA 14	1024 x 768	47.00	58.30				

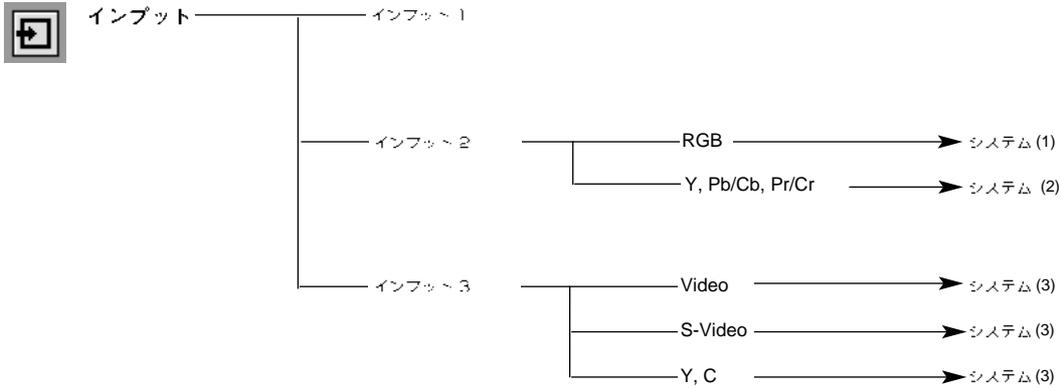
※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。

※ SXGA、UXGA、Mac21、Mac、1035i、1080i 60、1080i 50の信号を投射するときは、信号をデジタル圧縮して映しますの
で、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

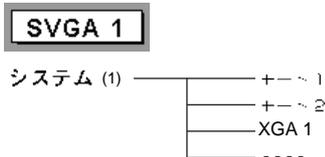
※ ドットクロックが230MHz以上のコンピュータの信号には対応していません。

メニュー内容一覧

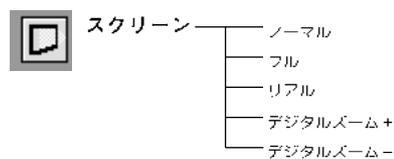
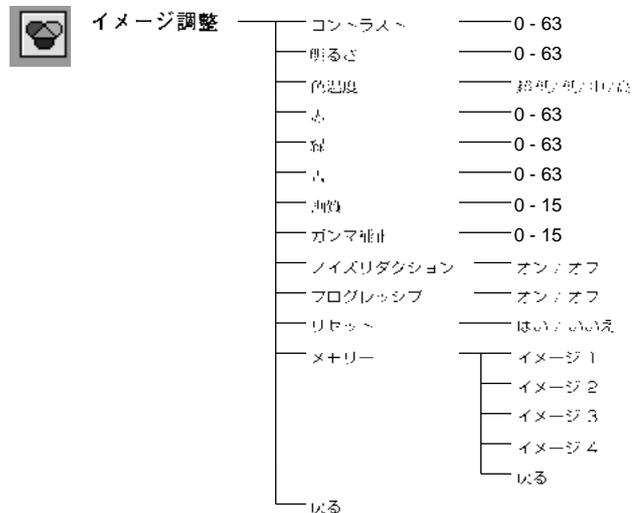
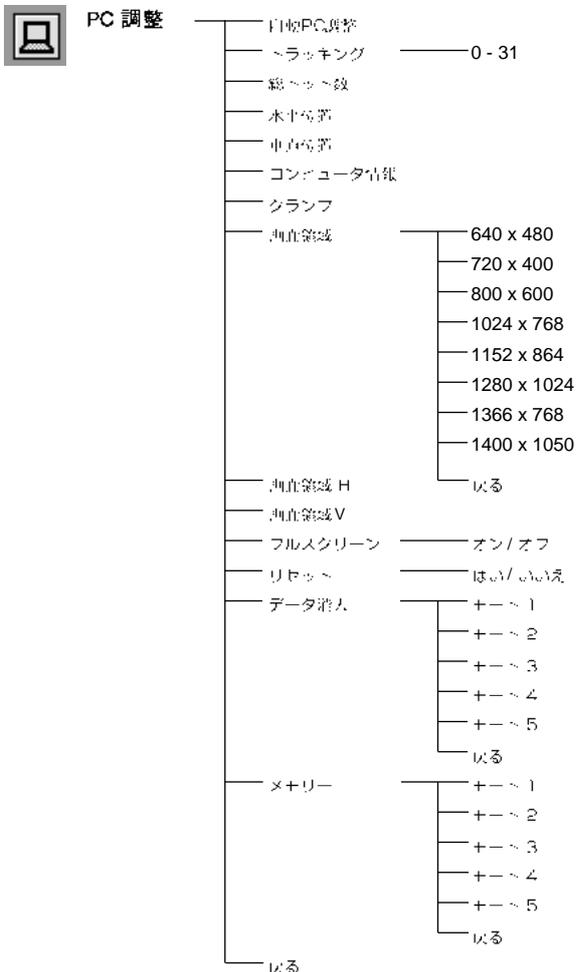
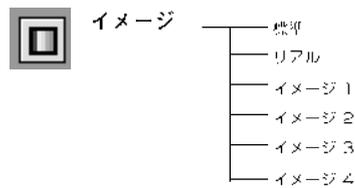
コンピュータ / ビデオ インプット



コンピュータ入力



* 表示される内容は入力された
Vによって異なります。



ビデオ入力

Auto

- システム (2)
 - Auto
 - 1080i 60
 - 1080i 50
 - 1035i
 - 720p
 - 575p
 - 480p
 - 575i
 - 480i

Auto

- システム (3)
 - Auto
 - PAL
 - SECAM
 - NTSC
 - NTSC 4.43
 - PAL-M
 - PAL-N



イメージ

- 標準
- シネマ
- イメージ 1
- イメージ 2
- イメージ 3
- イメージ 4



イメージ調整

- コン・ラス・ 0 - 63
- 明るさ 0 - 63
- 色の濃さ 0 - 63
- 色合い 0 - 63
- 色温度 標準/暖色/冷色
- 赤 0 - 63
- 緑 0 - 63
- 青 0 - 63
- 調整 0 - 15
- ガンマ補正 0 - 15
- ノイズリダクション オン/オフ
- プログレッシブ オン/オフ
- リセット はい/いいえ
- メモリー
 - イメージ 1
 - イメージ 2
 - イメージ 3
 - イメージ 4
- 戻る



スクリーン

- フル
- ズーム
- ノーマル
- アタリライト



サウンド

- 高音 0 - 63
- 低音 0 - 63
- 低音 0 - 63
- スピーカー オン/オフ
- 消音 オン/オフ
- 戻る

セッティング



セッティング

- 言語
 - 英語
 - ドイツ語
 - フランス語
 - イタリア語
 - スペイン語
 - ポルトガル語
 - オランダ語
 - スウェーデン語
 - ロシア語
 - 中国語
 - 韓国語
 - 日本語
 - 戻る
- キーストーン
- ブルーバック オン/オフ
- オンスクリーン表示 オン/オフ
- ロゴ オン/オフ
- 人検知 オン/オフ
- リア録音 オン/オフ
- パワーマネージメント オフ/待機/シャットダウン
- オンスターオン オン/オフ
- ランプパワー
 - 💡
 - 💡
- リ+コンカラー
 - カラー 1
 - カラー 2
 - カラー 3
 - カラー 4
 - カラー 5
 - カラー 6
 - カラー 7
 - カラー 8
 - 戻る
- USB
 - 🔌
 - 🔌
- キーロック
 - 🔒
 - 🔒
- ランプカウンターリセット はい/いいえ
- 初期設定 はい/いいえ
- 戻る

仕様

プロジェクター本体

品番	LP-WF10
種類	液晶プロジェクター
表示方式	液晶パネル3枚 3原色光シャッター方式
液晶パネル	パネルサイズ：1.2型 表示方式：透過型TN液晶パネル 駆動方式：TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス方式 画素数：3,147,264画素 1,049,088（横1366×縦768）×3
光源ランプ	高輝度250W UHPランプ×2灯
ズーム/フォーカス調整	電動式（電動式レンズの場合）
入出力 コンピュータ	アナログRGB入力（入力2系統）：ミニD-sub 15ピン / BNC x 5ピン アナログRGB信号：0.7Vp-p、正極性、インピーダンス75Ω 水平・垂直同期：TTLレベル、負または正極性 （G信号中のコンポジット同期：0.3Vp-p、負極性、インピーダンス75Ω）
ビデオ	ビデオ入力（2系統） 映像/Y：BNCコネクター、ピンジャック、1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω Pb：BNCコネクター、ピンジャック、0.7Vp-p、インピーダンス75Ω Pr：BNCコネクター、ピンジャック、0.7Vp-p、インピーダンス75Ω S映像：セパレートYC信号、ミニDIN 4ピン Y：1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω C：0.286Vp-p（バースト信号）、インピーダンス75Ω
音声	音声入力（3系統）：ピンジャック（ステレオ）、142mVrms、インピーダンス47KΩ以上 （左モノ：右） 音声モニター出力（コンピュータ / ビデオ兼用）：ピンジャック（ステレオ）、出力可変、 インピーダンス1KΩ以下（左モノ：右）
制御入出力、他	コントロールポート（2系統）：ミニDIN 8ピン USB端子：USBコネクター、シリーズB、シングルポート シリアルポート（入力1系統/出力1系統） ワイヤードリモコン端子：ミニジャック
走査周波数	水平15~120KHz、垂直50~120Hz
カラーシステム	6システム（NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N）
音声実用最大出力	ステレオ 3W + 3W（JEITA）
スピーカ	5×9 cm 2個（JEITA）
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	700W（待機中消費電力：12W）
本体寸法	幅439×高さ230×奥行606 mm（突起部含まず）
質量	21 Kg（レンズ含まず）

※ 液晶パネルの有効画素数は99.99%以上です。投影中0.01%以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

リモコン

電源	DC3.0V 単3型アルカリ乾電池 2本使用
到達距離	約5m (受信部正面)
本体寸法	幅50×高さ36×奥行193mm
質量	160g (電池を含む)
レーザーポインタレーザー出力 (IEC60825-1, Am.1 1997)	クラス2 レーザ製品 最大出力：1 mW 波 長：650±20 nm

付属品

- リモコン 1個
- リモコン用 アルカリ乾電池 2本
- リモコン接続コード 1本
- 電源コード 1本
- コンピュータ接続ケーブル (D-sub用) 1本
- マウス コントロール ケーブル 3本 (PS/2用、シリアル用、Mac用)
- Mac変換アダプタ 1個
- 取扱説明書
- レンズ交換・取り付け作業手順書
- 保証書
- ユーザー登録カード (はがき)
- ダストカバー 1枚
- 遮光プレート 3種
- レンズ取付金具 2個
- 遮光プレート取付ベースキット 1セット

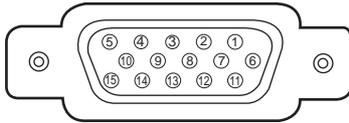
※このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。
 ※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
 ※説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

端子の仕様

ANALOG RGB (コンピュータ D-SUB入力端子)

コンピュータからのアナログ (RGB) 入力の端子として、またモニター出力端子としてはたります。接続には、DOS/V用コンピュータ接続ケーブル (付属) をご使用ください。

ミニ D-sub 15ピン

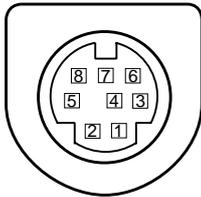


1	R	9	+5V パワー
2	G	10	接地 (垂直同期)
3	B	11	モニター ID0
4	モニター ID2	12	DDC データ
5	接地 (水平同期)	13	水平同期
6	接地 (R)	14	垂直同期
7	接地 (G)	15	DDC クロック
8	接地 (B)		

CONTROL PORT (コントロールポート端子)

接続したコンピュータのマウス操作をプロジェクターのリモコンで行なうときに接続する端子です。この端子とコンピュータのマウスポート (PS/2ポート、シリアルポート、または マウスポート) を付属のマウスコントロールケーブルで接続します。

ミニ DIN 8ピン

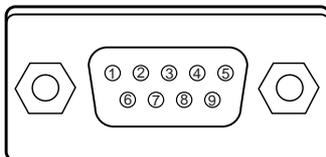


	マウスコントロールケーブルの種類		
	PS/2	シリアル	Mac
1	----	R x D	----
2	CLK	----	ADB
3	DATA	----	----
4	接地	接地	接地
5	----	RTS / CTS	----
6	----	T x D	----
7	接地	接地	----
8	----	接地	接地

SERIAL PORT IN / SERIAL PORT OUT (シリアルポート入出力端子)

接続したコンピュータからプロジェクターの制御を行なうときにつなぐ「SERIAL PORT IN」端子と、2台目以降のプロジェクターも同じコンピュータから制御を行なうときに2台目以降のプロジェクターへも同じ制御信号を出力するための「SERIAL PORT OUT」端子です。

D-sub 9ピン

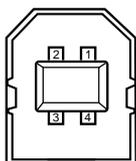


1	——	6	——
2	R x D	7	——
3	T x D	8	——
4	——	9	——
5	接地		

USB (ユニバーサルシリアルバス端子)

USB規格対応の端子を持つコンピュータ機器との接続に使用する端子です。

USBコネクタ (シリーズ B)



1	VCC
2	- DATA
3	+ DATA
4	接地

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はお買い上げ日より1年間です。
(ただし、光源ランプは6ヶ月です)

■保証期間中の修理

保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

■保証期間の過ぎたあとの修理

お買い上げの販売店にご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。

■修理を依頼される前に

58ページの「故障かなと思ったら」にそって故障かどうか確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときに ご連絡いただきたいこと

- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

ご転居やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がありましたら、お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ...

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の修理相談窓口にお問い合わせください。

家電製品についての全般的なご相談は <総合相談窓口>

受付時間：9：00～17：00まで（1月1日～3日は休ませていただきます）

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| ◆北海道地区 札幌 ☎ (011)290-1522 | ◆近畿・四国地区 大阪 ☎ (06)6994-9570 |
| ◆東北地区 仙台 ☎ (022)714-6137 | ◆中国地区 広島 ☎ (082)297-6067 |
| ◆関東地区 東京 ☎ (03)3815-1111 | ◆九州・沖縄地区 福岡 ☎ (092)263-7629 |
| ◆中部・北陸地区 名古屋 ☎ (052)533-5245 | |

※郵便・FAXでご相談される場合は

三洋電機（株）お客さまセンター 〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX (06) 6994-9510

☆上記のお客さまご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

修理サービスについてのご相談は <修理相談窓口> 三洋コンシューママーケティング（株）

受付時間：月曜日～金曜日 [9：00～18：30]
土曜・日曜・祝日 [9：00～17：30]

出張修理のご依頼 その他の修理相談窓口

東日本コールセンター 東京 ☎ (03)5302-3401
西日本コールセンター 大阪 ☎ (06)4250-8400

関東・首都圏および近畿地区以外にお住まいのお客さまは下記の電話をご利用いただけます。

東日本コールセンターへの転送電話番号

- ◆北海道地区 札幌 ☎ (011)833-7888
- ◆東北地区 仙台 ☎ (022)382-2213
- ◆長野地区 長野 ☎ (0263)26-1772
- ◆新潟地区 新潟 ☎ (025)285-2451
- ◆福島地区 福島 ☎ (024)945-6811

西日本コールセンターへの転送電話番号

- ◆北陸地区 金沢 ☎ (076)237-6650
- ◆中部地区 名古屋 ☎ (052)459-3456
- ◆中国地区 広島 ☎ (082)293-9333
- ◆四国地区 高松 ☎ (087)844-8321
- ◆九州地区 福岡 ☎ (092)922-6111

◆沖縄地区 沖縄 ☎ (098)944-5018

受付時間：月曜日～土曜日（日曜、祝日および当社休日を除く）[9:00～12:00、13:00～17:30]

※「持ち込み修理および部品」についてのご相談は、各地区サービスセンターで承っております。

受付時間：月曜日～土曜日（日曜、祝日を除く）9：00～17：30

北海道地区	関東・甲信越地区	近畿地区
<p>札幌 ☎ (011)831-9201 〒003-0013 札幌市白石区中央3条4-1-36</p> <p>函館 ☎ (0138)48-8301 〒041-0824 函館市西桔梗589-295</p> <p>苫小牧 ☎ (0144)33-3421 〒053-0042 苫小牧市三光町2-2-5</p> <p>旭川 ☎ (0166)22-2421 〒070-0073 旭川市曙北3条7-3-3</p> <p>北見 ☎ (0157)23-4871 〒090-0037 北見市山下町4-7-14</p> <p>釧路 ☎ (0154)22-1576 〒085-0021 釧路市浪花町7-7</p>	<p>城東 ☎ (03)3607-3191 〒125-0051 東京都葛飾区新宿4-10-15</p> <p>江東 ☎ (03)3685-8166 〒136-0071 東京都江東区亀戸1-8-6</p> <p>城北 ☎ (03)3958-1261 〒173-0021 東京都板橋区弥生町72-5</p> <p>城西 ☎ (03)3376-3361 〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3-1-13</p> <p>武蔵野 ☎ (042)364-7721 〒183-0045 東京都府中市美好町2-3-1</p> <p>戸塚 ☎ (045)827-2831 〒224-0806 神奈川県横浜市戸塚区上品濃9-14</p> <p>相模原 ☎ (042)742-2272 〒228-0805 神奈川県相模原市豊町17-11</p> <p>平塚 ☎ (0463)55-3926 〒254-0014 神奈川県平塚市四之宮5-10-4</p> <p>千葉 ☎ (043)241-7311 〒260-0025 千葉県千葉市中央区問屋町5-20</p> <p>鎌ヶ谷 ☎ (047)441-0111 〒273-0105 千葉県鎌ヶ谷市鎌ヶ谷7-6-59</p> <p>山梨 ☎ (055)226-2561 〒400-0035 山梨県甲府市飯田4-9-14</p>	<p>神戸 ☎ (078)651-3951 〒652-0897 兵庫県神戸市兵庫区駅南通2-1-11</p> <p>阪神 ☎ (06)6432-3401 〒661-0026 兵庫県尼崎市水堂町4-17-6</p> <p>姫路 ☎ (0792)96-2141 〒670-0981 兵庫県姫路市西庄字八町108</p> <p>淡路 ☎ (0799)22-2702 〒656-0101 兵庫県洲本市納字横竹308-1</p>
東北地区	東海地区	中四国地区
<p>仙台 ☎ (022)384-0444 〒981-1225 宮城県名取市飯野坂3-4-8</p> <p>気仙沼 ☎ (0226)22-7206 〒988-0025 宮城県気仙沼市内の脇2-73-2</p> <p>古川 ☎ (0229)28-2343 〒989-6232 宮城県古川市沢田字舞台66</p> <p>青森 ☎ (017)729-3401 〒030-0141 青森県青森市大字上野字山辺29-5</p> <p>八戸 ☎ (0178)28-9225 〒039-1103 青森県八戸市長苗代字観音堂50-5</p> <p>盛岡 ☎ (019)635-0136 〒020-0863 岩手県盛岡市南仙北1-13-6</p> <p>水沢 ☎ (0197)23-6621 〒023-0003 岩手県水沢市佐倉河字羽黒田45</p> <p>山形 ☎ (023)641-1769 〒990-2432 山形県山形市荒橋町1-21-30</p> <p>酒田 ☎ (0234)23-3817 〒998-0842 山形県酒田市亀ヶ崎6-7-16</p> <p>秋田 ☎ (018)862-6551 〒010-0925 秋田県秋田市旭南3-2-67</p> <p>郡山 ☎ (024)945-6793 〒963-0111 福島県郡山市安積町荒井字戸蘭塔1-7</p>	<p>名古屋 ☎ (052)451-3161 〒453-0804 愛知県名古屋市中村区黄金通5-10</p> <p>岡崎 ☎ (0564)23-3418 〒444-0065 愛知県岡崎市柿田町1-2</p> <p>岐阜 ☎ (058)246-3417 〒501-6006 岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35</p> <p>静岡 ☎ (054)261-4151 〒420-0813 静岡県静岡市長沼835</p> <p>沼津 ☎ (055)963-1000 〒410-0861 静岡県沼津市真砂町3-1</p> <p>浜松 ☎ (053)461-8685 〒435-0016 静岡県浜松市和田町795-2</p> <p>松本 ☎ (0263)26-1107 〒390-0835 長野県松本市高宮東1-35</p> <p>長野 ☎ (026)299-9501 〒388-8006 長野県長野市篠ノ井御幣川字東松島1000-2</p> <p>金沢 ☎ (076)237-7811 〒920-0062 石川県金沢市割出町627</p> <p>七尾 ☎ (0767)53-5249 〒926-0855 石川県七尾市小丸山台2-51</p> <p>富山 ☎ (076)422-7020 〒939-8211 富山県富山市二口町1-13-8</p> <p>福井 ☎ (0776)22-6082 〒918-8231 福井県福井市問屋町1-17</p> <p>三重 ☎ (059)228-8126 〒514-0838 三重県津市岩田町10-3</p>	<p>広島 ☎ (082)293-6511 〒733-0012 広島県広島市西区中広町3-17-5</p> <p>福山 ☎ (084)925-3455 〒720-0077 広島県福山市南本庄3-1-48</p> <p>岡山 ☎ (086)245-1634 〒700-0973 岡山県岡山市下中野703-101</p> <p>津山 ☎ (0868)22-6133 〒708-0002 岡山県津山市上河原239-10</p> <p>鳥取 ☎ (0857)24-2930 〒680-0843 鳥取県鳥取市南吉方3-107</p> <p>浜田 ☎ (0855)22-7883 〒697-0023 島根県浜田市長沢町3049</p> <p>松江 ☎ (0852)23-1183 〒690-0017 島根県松江市西津田4-1-14</p> <p>山口 ☎ (083)973-3391 〒754-0024 山口県吉敷郡小郡町若草町2-6</p> <p>愛媛 ☎ (089)971-3342 〒791-8036 愛媛県松山市高岡町148-1</p> <p>宇和島 ☎ (0895)27-1818 〒798-0077 愛媛県宇和島市保田甲934-3</p> <p>香川 ☎ (087)843-1840 〒761-0104 香川県高松市高松町2175-10</p> <p>高知 ☎ (088)860-0229 〒781-5106 高知県高知市介良乙1044</p> <p>徳島 ☎ (088)699-4131 〒771-0219 徳島県板野郡松茂町榎木野字八北開拓150-2</p>
関東・甲信越地区	近畿地区	九州地区
<p>さいたま ☎ (048)664-2319 〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町1-30</p> <p>坂戸 ☎ (049)284-8900 〒350-0214 埼玉県坂戸市千代田5-3-17</p> <p>栃木 ☎ (028)653-2811 〒321-0106 栃木県宇都宮市上横田町1302-12</p> <p>茨城 ☎ (0298)64-4751 〒300-3261 茨城県つくば市花畑2-15-3</p> <p>水戸 ☎ (029)251-4125 〒311-4152 茨城県水戸市河和田3-2386-1</p> <p>群馬 ☎ (027)362-1151 〒370-0001 群馬県高崎市中尾町池の内441</p> <p>西関東 ☎ (0276)22-7702 〒373-0015 群馬県太田市東新町72-2</p> <p>新潟 ☎ (025)285-2431 〒950-0971 新潟県新潟市近江244</p> <p>長岡 ☎ (0258)24-0705 〒940-0029 新潟県長岡市東蔵王2-3-46</p> <p>上越 ☎ (0255)43-3535 〒942-0074 新潟県上越市石橋2-2-9</p>	<p>大阪 ☎ (06)6992-6235 〒570-0086 大阪府守口市竹町4-13</p> <p>大阪南 ☎ (06)6761-4600 〒543-0001 大阪府大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F</p> <p>大阪東 ☎ (0729)65-1811 〒578-0903 大阪府東大阪市今米2-3-29</p> <p>阪和 ☎ (072)221-8571 〒590-0959 大阪府堺市大町西3-1-16</p> <p>京都 ☎ (075)672-0877 〒601-8102 京都府京都市南区上鳥羽菅田町41</p> <p>三丹 ☎ (0773)27-3458 〒620-0856 京都府福知山市土師宮町1-66</p> <p>奈良 ☎ (0744)22-7888 〒634-0837 奈良県橿原市曲川町7-1-31</p> <p>滋賀 ☎ (077)545-4221 〒520-2134 滋賀県大津市瀬田1-1-5</p> <p>和歌山 ☎ (073)436-3110 〒641-0006 和歌山県和歌山市中島369</p> <p>田辺 ☎ (0739)22-7520 〒646-0051 和歌山県田辺市稲成町南江原318</p>	<p>福岡 ☎ (092)928-3414 〒818-8534 福岡県筑紫野市紫6-1-1</p> <p>北九州 ☎ (093)521-5286 〒802-0023 福岡県北九州市小倉北区下富野2-10-28</p> <p>中九州 ☎ (0942)21-3534 〒830-0052 福岡県久留米市上津町字赤坂1890-2</p> <p>長崎 ☎ (095)824-5628 〒850-0012 長崎県長崎市本河内町3-21-43</p> <p>佐世保 ☎ (0956)31-7635 〒857-1162 長崎県佐世保市卸本町17-1</p> <p>熊本 ☎ (096)357-1122 〒861-4106 熊本県熊本市南高江3-2-88</p> <p>八代 ☎ (0965)35-3483 〒866-0871 熊本県八代市田中東町12-7</p> <p>大分 ☎ (097)543-3454 〒870-0822 大分県大分市大道町3-4-32</p> <p>宮崎 ☎ (0985)29-3441 〒880-0036 宮崎県宮崎市花ヶ島町観音免883</p> <p>鹿児島 ☎ (099)251-4615 〒890-0068 鹿児島県鹿児島市東都元町11-10</p>
沖縄地区		
<p>沖縄 ☎ (098)944-5018 〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株) サービス部</p>		

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

愛情点検

●長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ!

※このサービスは、LP-WF10の故障や使用上のトラブルの予防・対応に有効です。故障やトラブルの原因を特定し、適切な対応を提案させていただきます。



このような
症状は
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない
- 映像が時々消えることがある
- 変音に悩まされた、音がにたります
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない
- 冷却に水や異物が入った
- その他異常や故障がある



ご使用
中止

故障や事故防止のため、
スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客さまメモ

品番	LP-WF10
お買い上げ年月日	年 月 日
お買い上げ店名	☎
最寄りのお客さま ご相談窓口	☎

三洋電機株式会社

AVソリューションズカンパニー
プロジェクタビジネスユニット 国内企画部
〒574-8534 大阪府大東市三洋町1-1